

北海道寿都郡寿都町
文献調査報告書

収集し情報を抽出した文献・データのリスト

2024年11月

原子力発電環境整備機構

2024年11月 発行 原子力発電環境整備機構

本資料を利用する際は出典を記載してください。出典の記載方法は以下のとおりです。編集・加工等して利用する際には、以下の出典表記とは別に編集・加工等を行ったことを記載してください。

(出典の記載例)

原子力発電環境整備機構 (2024) 北海道寿都郡寿都町文献調査報告書

また、第三者（原子力発電環境整備機構以外のものをいいます。以下同じ。）の著作物が含まれる場合（例えば、原子力発電環境整備機構が第三者の図表等を用いて転載・編集・加工等している図表等）には、別途、第三者からの許諾が必要になることがあります。利用者の責任において、第三者が権利を有している部分を確認し、当該第三者から利用の許諾を得てください。

上記は、著作権法上認められている引用などの利用について、制限するものではありません。

収集し情報を抽出した文献・データのリスト

北海道寿都郡寿都町の文献調査において、最終処分法に定められた要件に対応した項目、地熱資源およびこれらの基礎情報である技術的観点からの検討のうちの地層や岩体、断層などの分布（地形、地質・地質構造）について、収集し情報を抽出した文献・データ的具体名をリストにして次頁以降にまとめた。収集し情報を抽出した文献・データは、項目間の重複を除いて755件であった。

なお、地震・活断層、噴火、鉱物資源・地熱資源などの項目別に分けたリストについては、それぞれの項目に関する説明書の添付資料としている。

<リストの記載方法>

- ・ 著者名，（発表年），タイトル，雑誌や報告書名，巻・号・頁や発行所などの順で記載した。
- ・ ウェブサイトの場合，著者名，タイトル，閲覧日などの順で記載した。
- ・ 著者名をアルファベット順で並べ，同じ著者の場合は発表年順で並べた。

A

- Abdelwahed, M. F., Zhao, D. (2007) Deep structure of the Japan subduction zone, *Physics of the Earth and Planetary Interiors*, 162, pp. 32–52.
- 赤松守雄 (2003) 北海道の自然史, 北海道出版企画センター.
- 秋葉 力 (1957) 北海道後志国大金鉱山附近の地質および鉱床 特に西谷鍾群について, *鉱山地質*, 7, 3, pp. 30–48.
- 秋葉 力 (1958) 北海道西南部における鉱床区, 新生代の研究, 27, pp. 623–632.
- 秋葉 力, 藤江 力, 松井 愈, 岡部賢二, 酒匂純俊, 魚住 悟 (1966) 北海道西南部における火成活動と地質構造, *地団研専報*, 12, pp. 16–24.
- 秋葉 力, 庄谷幸夫 (1970) 黒松内東北部地域の地質と鉱床, 北海道地下資源調査資料, 118, pp. 47–55, 北海道開発庁.
- 秋田藤夫 (2014) 北海道における地熱開発調査の現状と課題, 第 52 回試錐研究会講演資料集, pp. 13–21, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 青木かおり, 町田 洋 (2006) 日本に分布する第四紀後期広域テフラの主元素組成 $-K_2O-TiO_2$ 図によるテフラの識別, *地質調査研究報告*, 57, 7/8, pp. 239–258, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 青柳直樹, 内野栄治, 市橋大山 (2015) 北海道内温泉のラドン濃度, *温泉科学*, 64, pp. 422–434.
- 浅森浩一, 石丸恒存, 岩月輝希 (2002) 日本列島における火山周辺の酸性地下水分布, *サイクル機構技報*, 15, pp. 103–111.
- 浅森浩一, 梅田浩司, 石丸恒存, 小松 亮 (2003) 温泉地化学データベースの作成, JNC TN7450 2002-003, 核燃料サイクル開発機構.
- Asamori, K., Zhao, D. (2015) Teleseismic shear wave tomography of the Japan subduction zone, *Geophysical Journal International*, 203, pp. 1752–1772.
- 吾妻 崇 (2002) 黒松内低地の地形地質調査, *AFRC News*, 16, p. 2, 産業技術総合研究所活断層研究センター.
- 吾妻 崇 (2002) 黒松内低地断層帯の活動様式と今年度の調査計画—強震動評価につなげる活断層調査—, *AFRC News*, 14, p. 6, 産業技術総合研究所活断層研究センター.
- 吾妻 崇 (2002) 黒松内低地断層帯長万部断層のトレンチ掘削調査, *AFRC News*, 18, p. 3, 産業技術総合研究所活断層研究センター.
- 吾妻 崇 (2002) 黒松内低地断層帯長万部断層のトレンチ掘削調査第 2 報, *AFRC News*, 18, p. 3, 産業技術総合研究所活断層研究センター.
- 吾妻 崇, 下川浩一 (2002) 黒松内低地断層帯白炭地区のトレンチ掘削調査, *AFRC News*, 16, p. 2, 産業技術総合研究所活断層研究センター.
- 吾妻 崇, 下川浩一, 寒川 旭, 杉山雄一, 奥村晃史, 桑原拓一郎 (2002) 黒松内低地断層帯白炭地区のトレンチ掘削調査ほか, *AFRC News*, 18, p. 2, 産業技術総合研究所活断層研究センター.
- Azuma, T., Okumura, K., Shimokawa, K., Sugiyama, Y., Sangawa, A., Kuwabara, T. (2003) Transition of neotectonics in the Kuromatsunai Lowland fault zone, Southwest Hokkaido, related to starting of convergence along the east margin of the Sea of Japan, *IUGG2003 Abstracts Week B*, p. 472.
- 吾妻 崇, 下川浩一, 寒川 旭, 杉山雄一, 桑原拓一郎, 奥村晃史, 黒澤英樹, 信岡 大, 三輪敦志 (2003) 黒松内低地断層帯における断層活動履歴調査, *活断層・古地震研究報告*, 3, pp. 1–22.
- 吾妻 崇, 下川浩一, 杉山雄一, 寒川 旭, 奥村晃史, 桑原拓一郎, 黒澤英樹, 信岡 大, 三輪敦志 (2003) 褶曲—衝上断層帯における活断層調査—黒松内低地断層帯における事例—, *地球惑星科学関連学会合同大会予稿集*, J027-P005.
- 吾妻 崇, 下川浩一, 杉山雄一, 寒川 旭, 桑原拓一郎, 奥村晃史 (2003) 黒松内低地断層帯における断層活動履歴調査, 第 2 回活断層研究センター研究発表会「活断層評価手法の高度化に向けて—」講演要旨集, p. 6.
- 吾妻 崇, 桑原拓一郎, 下川浩一, 杉山雄一, 寒川 旭, 奥村晃史, 黒澤英樹, 三輪敦志, 古澤 明 (2003) 黒松内低地断層帯調査で得られた放射性炭素同位体年代と火山灰, *日本第四紀学会講演要旨集*, 33, pp. 108–109.
- 吾妻 崇, 奥村晃史, 後藤秀昭, 黒澤英樹, 信岡 大, 三輪敦志, 下川浩一, 寒川 旭, 杉山雄一 (2004) 北海道南西部, 長万部付近にみられる段丘面の傾動と活褶曲運動, *日本第四紀学会講演要旨集*, 34, pp. 4–5.
- 吾妻 崇, 後藤秀昭, 下川浩一, 奥村晃史, 寒川 旭, 杉山雄一, 町田 洋, 黒澤英樹, 信岡 大, 三輪敦志 (2004) 黒松内低地断層帯の最新活動時期と地下地質構造, *活断層・古地震研究報告*, 4, pp. 45–64.
- 吾妻 崇, 後藤秀昭, 下川浩一, 杉山雄一, 寒川 旭, 奥村晃史, 黒澤英樹, 信岡 大, 三輪敦志 (2004) 黒松内低地断層帯における低角逆断層による地層変形とその活動時期, *地球惑星科学関連学会合同大会予稿集*, J027-009.
- 吾妻 崇 (2005) 黒松内低地断層帯の活動履歴と地下構造, *AFRC News*, 46, p. 13, 産業技術総合研究所活断層研究センター.
- 吾妻 崇, 奥村晃史, 後藤秀昭, 杉山雄一, 寒川 旭, 黒澤英樹, 三輪敦志 (2005) 黒松内低地断層帯蔵岱断層の活動間隔, *地球惑星科学関連学会合同大会予稿集*, J027-P003.
- 吾妻 崇, 後藤秀昭, 奥村晃史, 杉山雄一, 寒川 旭 (2005) 黒松内低地断層帯の最新活動時期と地下構造, *地質調査研究報告*, 56, 3/4, p. 164, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.

B

- 番場猛夫, 松村 明, 斎藤正雄, 沢 俊明, 山田敬一, 五十嵐昭明 (1962) 北海道金属非金属鉱床総覧 III. 古生代後期—第三紀初期の鉱化作用, 地質調査所.
- 防災科学技術研究所 (2013) 文部科学省委託研究 ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究総括成果報告書, p. 98.
- 防災科学技術研究所: F-net 広帯域地震観測網, <https://www.fnet.bosai.go.jp/top.php?LANG=ja>, 2023年9月11日閲覧.
- 防災科学技術研究所: Hi-net 高感度地震観測網, <https://www.hinet.bosai.go.jp/?LANG=ja>, 2022年5月11日閲覧.
- 防災科学技術研究所: J-SHIS 地震ハザードステーション, <https://www.j-shis.bosai.go.jp/>, 2022年5月24日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 強震観測網 (K-NET, KiK-net), <https://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/>, 2023年11月27日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 地すべり地形 GIS データ, http://dil-opac.bosai.go.jp/publication/nied_tech_note/andslidemap/gis.html, 2023年5月19日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 日本全国高分解能再決定震源カタログ, <https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/JUICE/?LANG=ja>, 2022年5月24日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 日本列島下の三次元地震波速度構造 (海域拡大 2019年版), https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/sokudo_kozo/, 2022年5月24日閲覧.

C

- 地学団体研究会札幌支部 (1960) 北海道地域の新第三紀構造発達史, 地球科学, 52, pp. 30–36.
- 千木良雅弘 (2023) 高レベル放射性廃棄物処分場の立地選定—地質学的不確実性の事前回避—, 近未来社.
- 地質調査所編 (1954) 日本鉱産誌 BI-c 主として金属原料となる鉱石—鉄・鉄合金および軽金属—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1954) 日本鉱産誌 BIV 物理的特性を利用する鉱物, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉱産誌 BII 主として化学工業原料及び肥料原料となる鉱石, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉱産誌 BI-a 主として金属原料となる鉱石—金・銀その他—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉱産誌 BIII 主として窯業原料となる鉱石, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉱産誌 BVI-b 水および地熱—地下水・地表水および海水—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1956) 日本鉱産誌 BI-b 主として金属原料となる鉱石—銅・鉛・亜鉛—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1956) 日本鉱産誌 BVII 土木建築材料, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1957) 日本鉱産誌 BV-b 主として燃料

となる鉱石—石油および可燃性天然ガス—, 東京地学協会.

- 地質調査所編 (1957) 日本鉱産誌 BVI-a 水および地熱—地熱および温泉・鉱泉—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1959) 日本鉱産誌 A 総論, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1960) 日本鉱産誌 BV-a 主として燃料となる鉱石—石炭—, 東京地学協会.
- 地質調査所 (1982) 日本地質アトラス.
- 地質調査所編 (1992) 日本地質アトラス (第2版), 朝倉書店.
- 地質調査所燃料部石油課 (1959) 天然ガス徴候の見方と見つけ方, 地質ニュース, 53, pp. 6–13.
- 地質調査所燃料部石油課 (1959) 油徴とはどんなものか (2), 地質ニュース, 58, pp. 9–13.
- 地質調査所燃料部石油課 (1960) 最近発見された日本の新油田・新ガス田 (その2), 地質ニュース, 72, pp. 7–11.
- 地質調査所燃料部石油課 (1961) 日本北部の天然ガス, 地質ニュース, 83, pp. 7–11.
- 地質環境の長期安定性研究委員会 (2011) 地質リーフレット4, 日本列島と地質環境の長期安定性, 日本地質学会.
- 知徳 力 (1984) 北海道西南部, 上八雲地域の地質と微化石 (放散虫化石と石灰質超微化石), 地質学雑誌, 90, 5, pp. 299–310.
- 中央防災会議事務局 (2004) 北海道地域の深部地盤構造モデルについて, https://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/senmon/nihonkaiko_chisimajishin/hokkaido_wg/1/index.html, 2022年5月26日閲覧.
- Creveling, J. R., Mitrovica, J. X., Clark, P. U., Waelbroeck, C., Pico, T. (2017) Predicted bounds on peak global mean sea level during marine isotope stages 5a and 5c, *Quaternary Science Reviews*, 163, pp. 193–208.

D

- 第四紀地殻変動研究グループ (1968) 第四紀地殻変動図, 第四紀研究, 7, 4, pp. 182–187.
- 第四紀火山カタログ委員会編 (1999) 日本の第四紀火山カタログ, 日本火山学会.
- 檀原 毅 (1970) 日本における平均海面の永年変化とそれにもなう問題点について, 測地学会誌, 16, 1-2, pp. 1–8.
- 檀原 毅 (1971) 日本における最近70年間の総括的上下変動, 測地学会誌, 17, 3, pp. 100–108.
- 土居繁雄, 藤原哲夫 (1958) 寿都地区 (潮路—磯谷), 未利用鉄資源 第4輯, pp. 21–23, 通商産業省.
- 土居繁雄, 松井公平, 藤原哲夫 (1958) 5万分の1地質図幅「豊浦」及び説明書, 5万分の1地質図, 札幌-第49号, 北海道開発庁.
- 土居繁雄 (1960) 洞爺湖温泉の泉温低下について, 地下

- 資源調査所報告, 24, pp. 45-49.
- 土居繁雄, 長谷川 潔, 寺島克之, 高橋功二, 斎藤昌之, 小山内 熙, 五十嵐昭明, 岡部賢二, 鈴木 哲, 財原浩美, 坂下正弘, 秋元友造, 横平 弘 (1977) 特定鉄床開発促進調査資料 泊川上流地域, 北海道開発局長官房.
- 道家涼介, 谷川晋一, 安江健一, 中安昭夫, 新里忠史, 梅田浩司, 田中竹延 (2012) 日本列島における活断層の活動開始時期の空間的特徴, 活断層研究, 37, pp. 1-15.
- 道南グリーン・タフ団体研究グループ (1984) 西南北海道・島牧地域の第三系—グリーン・タフ変動と島弧変動との関連性についての検討—, 地球科学, 38, 6, pp. 380-396.
- E**
- 江原幸雄, 西田直樹, 横山 泉 (1970) 北海道における地殻熱流量の測定 (その1), 北海道大学地球物理学研究報告, 24, pp. 125-139.
- 江原幸雄, 横山 泉 (1971) 北海道における地殻熱流量の測定 (その2), 北海道大学地球物理学研究報告, 26, pp. 67-84.
- F**
- 藤林紀枝, 渡辺 寧, 加々美寛雄, 川野良信 (1995) 東北日本弧北端, 積丹半島-支笏湖地域における中新世後期~鮮新世火山岩類の化学組成の時空変遷, 地質学論集, 44, pp. 181-195.
- 藤井敬三, 曾我部正敏 (1978) 北海道における後期中新世から鮮新世にみられる構造運動, 地質調査所月報, 29, 10, pp. 631-644.
- Fujii, N., Igarashi, T., Togashi, Y. (1976) Distribution map of kaolin, pyrophyllite and sericite clay deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-1, Geological Survey of Japan.
- 藤本和徳 (1995) 道内市町村の地熱・温泉ボーリング, 第33回試錐研究会講演資料集, pp. 55-65, 北海道立地下資源調査所.
- 藤本和徳, 高橋徹哉, 鈴木隆広編 (2004) 北海道市町村の地熱・温泉ボーリングデータ集, 北海道立地質研究所.
- 藤原 治, 三箇智二, 大森博雄 (1999) 日本列島における侵食速度の分布, サイクル機構技報, 5, pp. 85-93.
- 藤原 治, 三箇智二, 大森博雄 (2001) 日本列島における侵食速度の分布 (CD-ROM版), JNC TN7410 2001-015, 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター.
- 藤原 治, 柳田 誠, 三箇智二 (2004) 日本列島の最近約10万年間の隆起速度の分布, 月刊地球, 26, 7, pp. 442-447.
- 藤原 治, 柳田 誠, 三箇智二, 守屋俊文 (2005) 地層処分からみた日本列島の隆起・侵食に関する研究, 原
- 子力バックエンド研究, 11, 2, pp. 113-124.
- 藤原哲夫 (1955) 樽岸村地区, 未利用鉄資源 第1輯, pp. 92-95, 通商産業省.
- 藤原哲夫, 二間瀬 冽 (1961) 北海道の砂チタンおよび含チタン砂鉄鉱石(I)—とくに化学組成について—, 地下資源調査所報告, 25, pp. 57-78.
- 藤原哲夫 (1962) 北海道の砂チタンおよび含チタン砂鉄鉱石, 地下資源調査所報告, 27, pp. 1-48.
- 藤原哲夫, 渡辺 卓 (1962) 長万部町北部および黒松内町東部鉄鉱床調査報告, 北海道地下資源調査資料, 75, pp. 1-14, 北海道開発庁.
- 藤原哲夫 (1983) 北海道の地質と資源 V 北海道の非金属資源, 北海道立地下資源調査所.
- 深畑幸俊, 岡崎智久, 西村卓也 (2022) GNSS データに基づく日本列島の歪み速度場と島弧間および島弧内変動, 地学雑誌, 131, 5, pp. 479-496.
- 深見浩司 (2009) 地質系統と水理定数・水質その2—北海道の畑作振興深層地下水調査から—, 北海道立地質研究所報告, 80, pp. 157-183.
- 福田正己 (1982) 北海道における凍結-融解の繰返し出現頻度の分布—ソリフラクションに関連して—, 若松五郎編:北海道全域における積雪の分布と特性およびにそれが地面凍結, 植生, 昆虫生態に及ぼす影響に関する研究, 北海道大学低温科学研究所, pp. 77-86.
- 二間瀬 冽, 松波武雄 (1985) 北海道の地熱・温泉—1985年・I版— (A) 西南北海道中南部 (1975年~1983年) (B) 西南北海道北部 (1976年~1983年), 地下資源調査所調査研究報告, 15.
- G**
- 鷹澤好博 (1992) 西南北海道渡島半島の第三系層序と古地理, 地質学論集, 37, pp. 11-23.
- 鷹澤好博, 白井理沙, 田中 瞳, 東 剛 (2007) SAR法による洞爺火砕流堆積物の赤色熱ルミネセンス年代測定, 地質学雑誌, 113, 9, pp. 470-478.
- Goto, Y., Suzuki, K., Shinya, T., Yamauchi, A., Miyoshi, M., Danhara, T., Tomiya, A. (2018) Stratigraphy and Lithofacies of the Toya Ignimbrite in Southwestern Hokkaido, Japan: Insights into the Caldera-forming Eruption at Toya Caldera, Journal of Geography (Chigaku Zasshi), 127, 2, pp. 191-227.
- H**
- 萩原法子 (1990) 黒松内低地帯における更新世中期の古環境, 春日井昭教授退官記念論文集, pp. 87-92.
- 萩原法子, 矢野牧夫 (1994) 渡島半島におけるブナ林の北限到達年代, 北海道開拓記念館研究年報, 22, pp. 1-9.
- 長谷川 昭, 海野徳仁, 高木章雄, 鈴木貞臣, 本谷義信, 亀谷 悟, 田中和夫, 澤田義博 (1983) 北海道および東北地方における微小地震の震源分布—広域の震震データの併合処理—, 地震 第2輯, 36, pp. 129-150.

- 長谷川 昭, 中島淳一, 海野徳仁, 三浦 哲, 諏訪謡子 (2004) 東北日本弧における地殻の変形と内陸地震の発生様式, 地震 第2輯, 56, 4, pp. 413-424.
- Hasegawa, A., Nakajima, J., Uchida, N., Okada, T., Zhao, D., Matsuzawa, T., Umino, N. (2009) Plate subduction, and generation of earthquakes and magmas in Japan as inferred from seismic observations: An overview, Gondwana Research, 16, pp. 370-400.
- 長谷川 昭, 中島淳一, 内田直希, 梁田高広, 岡田知己, 趙 大鵬, 松澤 暢, 海野徳仁 (2012) 沈み込み帯の地震の発生機構—地殻流体に規定されて発生する沈み込み帯の地震—, 地学雑誌, 121, 1, pp. 128-160.
- 長谷川 昭, 中島淳一 (2022) 陸域下の低周波地震とその地震学のおよびテクニクスの意義, 地学雑誌, 131, 3, pp. 289-315.
- 長谷川 潔, 寺島克文, 黒沢邦彦 (1983) 北海道の地質と資源 III 北海道の金属鉱物資源, 北海道立地下資源調査所.
- 長谷川 潔, 黒沢邦彦, 庄谷幸夫, 八幡正弘 (1989) 北海道のレアメタル資源 (鉱物資源開発調査報告第7報), 地下資源調査所報告, 60, pp. 157-175.
- 長谷川浩一, 若松加寿江, 松岡昌志 (2005) ダム堆砂データに基づく日本全国の潜在的侵食速度分布, 自然災害科学, 24, 3, pp. 287-301.
- 長谷川四郎 (1998) 北海道西南部今金地域に分布する“貝殻橋砂岩層”の底生有孔虫群集, 今金地域研究, 4, pp. 1-17, 今金町教育委員会.
- 長谷川四郎 (1999) 底生有孔虫化石層序に関する古海洋学的考察—北海道の新第三系を例にして—, 石油技術協会誌, 64, 1, pp. 40-48.
- 橋本 学, 多田 堯 (1988) 北海道地方の水平変動とテクニクス, 地震 第2輯, 41, 1, pp. 29-38.
- 橋本 亘, 石川俊夫, 船橋三男, 斉藤昌之, 長尾捨一編 (1958) 20万分の1北海道地質図(1~6) 説明書, 20万分の1地質図, 北海道立地下資源調査所.
- 橋本 亘, 菅野三郎, 品田 穰, 大島一精 (1963) 北海道渡島半島今金—国縫—八雲間の地質, 地質学雑誌, 69, 812, pp. 228-238.
- 早川福利, 国府谷盛明 (1968) 寿都町弁慶岬周辺の温泉示徴, 地下資源調査所報告, 38, p. 90.
- 早川福利, 酒匂純俊, 和気 徹, 二間瀬 洌, 斉藤尚志, 松波武雄 (1983) 北海道の地質と資源 II 北海道の地熱温泉資源, 北海道立地下資源調査所.
- 早坂一郎, 鈴木 醇, 原田準平, 佐々保雄, 石川俊夫, 根本忠寛, 小林 勇, 沼辺武堤, 大島正夫, 斎藤 仁, 長尾捨一, 矢部伊太郎, 橋本 亘編 (1953) 二十万分之一北海道地質図(1) 西部, 20万分の1地質図, 北海道立地下資源調査所.
- 平井浩二, 小野修司, 松枝大治 (2001) 西南北海道寿都・長万部地域における熱水性金銀鉱床の鉱化年代, 資源地質学会第51回年会講演会講演要旨集, P-36.
- 平田貴一, 茂木 透, 山谷祐介, 長谷英彰, 市原 寛 (2009) MT法による黒松内地域の地下構造, 北海道大学地球物理学研究報告, 72, pp. 387-398.
- 広川 治, 村山正郎 (1955) 5万分の1地質図幅「岩内」及び説明書, 5万分の1地質図, 札幌-第27号, 地質調査所.
- 広瀬 亘, 岩崎深雪, 中川光弘 (2000) 北海道中央部～西部の新第三紀火成活動の変遷: K-Ar年代, 火山活動様式および全岩化学組成から見た東北日本弧北端の島弧火成活動の変遷, 地質学雑誌, 106, 2, pp. 120-135.
- 広島俊男, 牧野雅彦, 村田泰章, 森尻理恵, 駒澤正夫 (1997) 渡島地域重力図, 重力図, 8, 地質調査所.
- 広田知保, 和田信彦, 横山英二, 菅 和哉 (1985) 北海道水理地質図「倶知安」及び説明書, 北海道水理地質図幅, 7, 北海道立地下資源調査所.
- 広田知保, 和田信彦, 横山英二, 菅 和哉 (1986) 北海道水理地質図「伊達・八雲」及び説明書, 北海道水理地質図幅, 12, 北海道立地下資源調査所.
- 広田知保 (1995) 北海道における活断層調査, 西南北海道の地震・火山災害, pp. 1-4.
- 広田知保 (2001) 黒松内町丸山地区地下水調査報告, 北海道立地質研究所報告, 72, pp. 123-124.
- 北海道 (1995) 平成5年(1993年)北海道南西沖地震災害記録.
- 北海道電力 (2009) 泊発電所1号機及び2号機「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う耐震安全性評価結果 報告書.
- 北海道電力 (2011) 泊発電所 平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価 中間報告書.
- 北海道電力 (2011) 平成23年東北地方太平洋沖地震を踏まえた新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価結果の報告に係る原子力安全・保安院における検討に際しての意見の追加への対応に基づく報告について (平成23年5月).
- 北海道電力 (2013) 泊発電所 平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価 地質調査結果報告書.
- 北海道電力 (2013) 泊発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書 (1号及び2号発電用原子炉施設の変更).
- 北海道電力 (2015) 泊発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書 (3号発電用原子炉施設の変更).
- 北海道電力 (2022) 泊発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書 (1号及び2号発電用原子炉施設の変更).
- 北海道電力: 北海道電力株式会社 泊発電所 (3号炉) 関連審査会合.
- 北海道電力: 北海道電力株式会社 泊発電所 (1・2号炉) 関連審査会合.
- 北海道土木地質データ集作成委員会編 (2017) 北海道地方土木地質図および同解説書, 日本応用地質学会北海

- 道支部。
北海道開発庁 (1968) 特定鉱床開発促進調査報告：噴火湾海底砂鉄鉱床。
北海道鉱業振興委員会編 (1990) 北海道の石油・天然ガス資源—その探査と開発 (昭和 52 年～63 年) —。
北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) 北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会報告書。
「北海道の地すべり 2012」編集委員会編 (2012) 北海道の地すべり 2012, 北海道地すべり学会。
北海道立地下資源調査所広報紙編集委員会編 (1989) 地域エネルギーが身近に—昭和 63 年度地域エネルギー開発振興事業成果—, 地下資源調査所ニュース, 5, 4, p. 2。
北海道立地下資源調査所広報紙編集委員会編 (1989) 北海道の自然公園めぐり、その 1—ニセコ積丹小樽海岸国立公園—, 地下資源調査所ニュース, 5, 3, pp. 2–3。
北海道立地下資源調査所広報紙編集委員会編 (1990) 地熱エネルギーの開発が盛ん—平成元年度地域エネルギー開発振興事業の成果—, 地下資源調査所ニュース, 6, 3, p. 2。
北海道立地質研究所広報委員会編 (2003) 活火山定義見直し—新たに利尻山・羊蹄山・ニセコなど—, 地質研究所ニュース, 19, 2。
北海道立地質研究所広報委員会編 (2009) ニセコ地域での温泉調査—持続可能な温泉利用をめざして, 地質研究所ニュース, 25, 1, p. 2。
北海道立総合研究機構, 産業技術総合研究所 (2011) 沿岸海域における活断層調査 黒松内低地断層帯 (海域部) 成果報告書, 地震調査研究推進本部。
北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所広報委員会編 (2012) ニセコ山麓の温泉の生い立ちをさぐる, 地質研究所ニュース, 28, 2。
北海道総合研究機構地質研究所 (2016) 平成 27 年度地熱・温泉熱開発可能性調査業務報告書。
北海道通商産業局産業部産業立地課 (2000) 岩内地域地下水利用適正化調査報告, 工業用水, 502, pp. 30–39。
Honda, S., Yoshida, T. (2005) Application of the model of small-scale convection under the island arc to the NE Honshu subduction zone, *Geochimistry, Geophysics, Geosystems*, 6, 1, Q01002, doi: 10.1029/2004GC000785。
Honda, S., Yoshida, T., Aoike, K. (2007) Spatial and temporal evolution of arc volcanism in the northeast Honshu and Izu-Bonin Arcs: Evidence of small-scale convection under the island arc?, *Island Arc*, 16, pp. 214–223。
堀 昌雄, 高木慎一郎, 玉生志郎, 村岡洋文, 品田正一, 清川 求 (1986) 全国地熱資源総合調査の地域レポート [1]ニセコ地域 (火山性熱水対流系地域タイプ①), *地熱エネルギー*, 11, 4, pp. 340–368, 新エネルギー財団地熱本部。
星野フサ, 萩原法子, 神谷美由紀, 曾禰多佳子, 土屋裕志, 小原正寿, 松代理佳, 柳沢真弥子 (1990) 中期更新世以降の古環境変遷—特に黒松内低地帯について—, 春日井昭教授退官記念論文集, pp. 77–86。
Hua, Y., Zhao, D., Xu, Y., Wang, Z. (2019) Arc-arc collision caused the 2018 Eastern Iburi earthquake (M 6.7) in Hokkaido, Japan, *Scientific Reports*, 9:13914, doi: 10.1038/s41598-019-50305-x。
- I
五十嵐昭明, 小松直蔵 (1957) 後志国島牧村地内の銅・鉛・亜鉛・マンガン鉱床調査報告 II 永豊・今井島牧 (湯沢) 鉱山附近のマンガン鉱床, 北海道地下資源調査資料, 32, pp. 48–56, 北海道開発庁。
五十嵐昭明 (1962) 長万部岳周辺地区金・銀・銅・鉛・亜鉛・硫化鉄・マンガン鉱床調査報告 II 島牧郡島牧村三恵鉱山の金・銀・銅・鉛・亜鉛・硫化鉄・マンガン鉱床調査報告, 北海道地下資源調査資料, 74, pp. 17–35, 北海道開発庁。
五十嵐昭明 (1962) 長万部岳周辺地区金・銀・銅・鉛・亜鉛・硫化鉄・マンガン鉱床調査報告 III 島牧郡島牧村岩田新島牧鉱山のマンガン鉱床調査報告, 北海道地下資源調査資料, 74, pp. 37–41, 北海道開発庁。
五十嵐昭明, 横田節哉 (1970) 北海道ニセコ火山東部地域の第四紀鉱化作用, *地質調査所月報*, 21, 6, pp. 361–385。
Igarashi, T. (1979) Distribution map of lead and zinc ore deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-2, Geological Survey of Japan。
Igarashi, T., Kishimoto, F. (1979) Distribution map of copper ore deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-3, Geological Survey of Japan。
五十嵐俊雄, 岡野武雄 (1979) 日本の硫黄・硫化鉄・石膏・重晶石鉱床分布図, 200 万分の 1 地質編集図, 17-6, 地質調査所。
五十嵐八枝子 (1990) 花粉化石から探る森林の歴史—北海道の 3 万年間—, *日本林学会北海道支部論文集*, 38, pp. 1–9。
五十嵐八枝子 (2010) 北海道とサハリンにおける植生と気候の変遷史—花粉から植物の興亡と移動の歴史を探る—, *第四紀研究*, 49, 5, pp. 241–253。
Igarashi, Y., Zharov, A. E. (2011) Climate and vegetation change during the late Pleistocene and early Holocene in Sakhalin and Hokkaido, northeast Asia, *Quaternary International*, 237, pp. 24–31。
五十嵐八枝子, 成瀬敏郎, 矢田貝真一, 檀原 徹 (2012) 北部北海道の剣淵盆地における MIS 7 以降の植生と気候の変遷史—特に MIS 6/5e と MIS 2/1 について—, *第四紀研究*, 51, 3, pp. 175–191。
Igarashi, Y. (2016) Vegetation and climate during the

- LGM and the last deglaciation on Hokkaido and Sakhalin Islands in the northwest Pacific, *Quaternary International*, 425, pp. 28–37.
- Iinuma, T., Kato, T., Hori, M. (2005) Inversion of GPS velocity and seismicity data to yield changes in stress in the Japanese Islands, *Geophysical Journal International*, 160, 2, pp. 417–434.
- 池田安隆, 今泉俊文, 東郷正美, 平川一臣, 宮内崇裕, 佐藤比呂志編 (2002) 第四紀逆断層アトラス, 東京大学出版会.
- 池谷仙之, 植松健児 (1968) 瀬棚層と黒松内層との関係について—北海道渡島半島八雲・今金・瀬棚地域の地質—, *地質学雑誌*, 74, 1, pp. 21–36.
- 池谷仙之, 林 慶一 (1982) 北海道渡島半島黒松内地方の地質, *地質学雑誌*, 88, 7, pp. 613–632.
- Imai, I., Issiki, N., Nozawa, T., Tanaka, K., Yamada, N., Yoshida, T. (1982) Geological map of Japan, 1:5,000,000 (Fourth edition), Geological Survey of Japan.
- 今井 登, 寺島 滋, 太田充恒, 御子柴 (氏家) 真澄, 岡井貴司, 立花好子, 富樫茂子, 松久幸敬, 金井 豊, 上岡 晃, 谷口政碩 (2004) 日本の地球化学図, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 今井 登, 寺島 滋, 太田充恒, 御子柴 (氏家) 真澄, 岡井貴司, 立花好子, 池原 研, 片山 肇, 野田 篤, 富樫茂子, 松久幸敬, 金井 豊, 上岡 晃 (2010) 海と陸の地球化学図, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 今泉俊文, 渡島半島活断層研究グループ (1982) 黒松内低地帯の活断層, *日本地理学会予稿集*, 22, pp. 98–99.
- 今泉俊文, 宮内崇裕, 堤 浩之, 中田 高編 (2018) 活断層詳細デジタルマップ [新編], 東京大学出版会.
- Imperial Geological Survey of Japan (1902) *Outlines of the geology of Japan : descriptive text to accompany the geological map of the Empire on the scale 1:1,000,000.*
- 石田正夫 (1983) 国縫地域の地質, 地域地質研究報告 (5 万分の 1 図幅), 札幌 (4) 第 59 号, 地質調査所.
- 石田正夫, 久保和也, 広島俊男 (1983) 20 万分の 1 地質図幅「室蘭」, 20 万分の 1 地質図, NK-54-21, 地質調査所.
- 石田正夫, 秦 光男 (1986) 50 万分の 1 地質図「札幌」, 50 万分の 1 地質図幅, 4, 地質調査所.
- 石田正夫, 秦 光男 (1989) 西南北海道渡島半島第三系の地質構造発達史, *地質学論集*, 32, pp. 29–56.
- 石田正夫, 三村弘二, 広島俊男 (1991) 20 万分の 1 地質図幅「岩内 (第 2 版)」, 20 万分の 1 地質図, 地質調査所.
- 石原舜三, 佐々木 昭, 佐藤興平 (1992) 日本鉱床生成図 深成岩活動と鉱化作用 (3) 第三紀–第四紀, 200 万分の 1 地質編集図, 15-3, 地質調査所.
- 石原舜三, 笠原裕子, 松枝大治 (1998) 北海道南西部における新第三紀花崗岩類の発見, *地質調査所月報*, 49, 9, pp. 461–467.
- 石井正之, 鬼頭伸治, 田近 淳, 宮坂省吾編 (2016) 北海道自然探検 ジオサイト 107 の旅, 北海道大学出版会.
- 石川典彦, 橋本 学 (1999) 測地測量により求めた日本の地震間の平均的な地殻水平ひずみ速度 (II), *地震* 第 2 輯, 52, pp. 299–315.
- 石川俊夫, 勝井義雄, 大場与志男, 佐藤博之 (1969) 北海道のカルデラについての 2・3 の問題, *火山* 第 2 集, 14, 2, pp. 97–108.
- 石川有三 (1998) 日本海の変動帯, *月刊地球*, 20, 8, pp. 490–496.
- 石塚 治, 岡村行信, 荒井晃作, 池原 研, 片山 肇 (2000) 北海道西方海域及び秋田沖海域より採取された岩石試料, *地質調査所速報*, MG/00/1, pp. 67–89.
- 磯見 博 (1968) 日本地質構造図, 200 万分の 1 地質編集図, 12, 地質調査所.
- 磯崎行雄, 丸山茂徳, 青木一勝, 中間隆晃, 宮下 敦, 大藤 茂 (2010) 日本列島の地体構造区分再訪 —太平洋型 (都城型) 造山帯構成单元および境界の分類・定義—, *地学雑誌*, 119, 6, pp. 999–1053.
- 板本拓也, 能條 歩 (2004) 西南北海道今金地域の第三系黒松内層から産出した放射虫化石による生層序年代, *地質学雑誌*, 110, 5, pp. 325–328.
- 伊藤昌介 (1948) 北海道後志国広尾鉱山鉛, 亜鉛調査報告, 商工省地下資源調査所速報, 57.
- 伊藤陽司, 山岸宏光, 川村信人, 堀 俊和 (1999) 北海道における地すべり地形の特徴—地すべり地形データベースの解析から—, *地すべり*, 35, 4, pp. 7–15.
- 伊藤嘉秋, 三浦 哲, 太田雄策 (2017) 北海道・東北地方における GNSS 速度場のクラスタ解析, *日本地震学会 2017 年度秋季大会講演予稿集*, S03-P05.
- 伊東佳彦, 日下部祐基, 日外勝仁, 坂本多朗 (2008) 工学的特性からみた北海道日本海沿岸火砕岩類の崩壊特性の検討, 平成 20 年度研究発表会講演論文集, pp. 123–124.
- 岩淵義郎, 加藤 茂 (1988) 第四紀地図の作成過程からみた大陸棚, *第四紀研究*, 26, 3, pp. 217–225.
- 泉 紀明, 西澤あずさ, 堀内大嗣, 木戸ゆかり, 中田 高, 後藤秀昭, 渡辺満久, 鈴木康弘 (2014) 3 秒グリッド DEM から作成した日本海東縁部の 3D 海底地形, *海洋情報部研究報告*, 51, pp. 127–143.
- 泉 紀明, 西澤あずさ, 堀内大嗣, 木戸ゆかり, 中田 高, 後藤秀昭, 渡辺満久, 鈴木康弘 (2015) 日本海東縁部海底地形のアナグリフ画像, *水路新技術講演集*, 28, P05, p. 28.

J

- 人文社編集部編 (2005) 日本の活断層地図 北海道・東北・新潟 活断層地図, 人文社.

- 地震調査研究推進本部地震調査委員会(2003)日本海東縁部の地震活動の長期評価について.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会(2005)黒松内低地断層帯の長期評価について.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会編(2009)日本の地震活動—被害地震から見た地域別の特徴—<第2版>,地震予知総合研究振興会地震調査研究センター.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会(2021)全国地震動予測地図2020年版, https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/shm_report_2020/, 2022年5月24日閲覧.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会:長期評価結果一覧, https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/lt_e_summary/, 2022年5月24日閲覧.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会:毎月の地震活動, https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismicity_monthly/, 2022年5月24日閲覧.
- 地震予知総合研究振興会:3D震源分布図, <https://www.adep.or.jp/kanren/singen.html>, 2022年5月24日閲覧.
- 地震予知総合研究振興会:地震検索/メジャーイベント情報, https://www.adep.or.jp/kanren/search_earth.html, 2022年5月24日閲覧.
- 地すべり学会北海道支部編(1999)北海道の地すべり'99.
- K**
- 楮原京子, 黒澤英樹, 小坂英輝, 三輪敦志, 今泉俊文(2013)黒松内低地断層帯・熱郭原野の断層露頭, 活断層研究, 38, pp.17-28.
- 海上保安庁(1996)20万分の1海底地形図「日本北海道西岸石狩湾西方」, 第6657号.
- 海上保安庁水路部(1979)沿岸の海の基本図(5万分の1)神威岬, 海図, 第6324号³.
- 海上保安庁水路部(1979)沿岸の海の基本図(5万分の1)茂津田岬, 海図, 第6325号³.
- 海上保安庁水路部(1995)沿岸の海の基本図(5万分の1)寿都, 海図, 第6325号^{1S}.
- 海上保安庁水路部(2001)日本海東縁部の海底地形と活構造, 地震予知連絡会会報, 66, 2-8, pp.100-104, 国土地理院.
- 貝塚爽平(1992)300万分の1日本と周辺の活断層・地震分布図, 地図, 30, 1, pp.29-34.
- 垣見俊弘, 衣笠善博, 加藤碩一(1978)日本活断層図および説明書「活断層について」, 200万分の1地質編集図, 18, 地質調査所.
- 垣見俊弘, 松田時彦, 相田 勇, 衣笠善博(2003)日本列島と周辺海域の地震地体構造区分, 地震 第2輯, 55, pp.389-406.
- Kamae, K. (Eds.) (2016) Earthquakes, Tsunamis and Nuclear Risks : Prediction and assessment beyond the Fukushima Accident, SpringerOpen.
- 鎌谷紀子, 勝間田明男(2004)火山から離れた地域で発生している深部低周波微動・地震—その分布と発生原因—, 地震 第2輯, 57, pp.11-28.
- 亀井節夫, ウルム氷期以降の生物地理総研グループ(1981)最終氷期における日本列島の動・植物相, 第四紀研究, 20, 3, pp.191-205.
- 神谷美由紀, 杉山多佳子, 北村法子(1984)黒松内低地帯における中部更新統の花分析, 日本第四紀学会講演要旨集, 14, pp.61-62.
- Kaneoka, I., Yamagishi, H., Yahata, M. (1987) K-Ar ages of the Neogene submarine volcanic rocks and overlying Quaternary subaerial lavas from the Mt. Karibayama area, Southwest Hokkaido, Bulletin of the Volcanological Society of Japan, Second Series, 32, 4, pp.329-333.
- 環境省:再生可能エネルギー情報提供システム, <https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/index.html?msckid=7b06bf8fcf7b11ec854afd71371b3b91>, 2022年5月13日閲覧.
- 鹿野和彦, 山岸宏光, 宇井忠英, 小野晃司, 星住英夫, 巖谷敏光, 中野 俊, 山元孝広, 宇都浩三, 川辺禎久, 曾屋龍典, 湯浅真人編(2000)日本の新生代火山岩の分布と産状 Ver.1.0, 数値地質図, G-4, 地質調査所.
- 鹿野和彦, 栗本史雄, 巖谷敏光, 星住英夫, 松浦浩久, 牧本 博(2002)日本地質図第5版, 200万分の1地質編集図, 4, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 火力原子力発電技術協会:地熱発電関係の情報の収集及び提供, <https://www.tenpes.or.jp/mmetc/>, 2023年1月20日閲覧.
- 片山 肇, 井内美郎, 池原 研(2012)積丹半島付近表層堆積図, 海洋地質図, 76 (CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 片山 肇, 井内美郎, 池原 研(2013)奥尻島北方表層堆積図, 海洋地質図, 80 (CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 加藤碩一, 脇田浩二, 菅原義明, 宮野素美子, 宮崎一博編(2011)日本の地質図史, 地質調査総合センター研究資料集, 535.
- 加藤幸弘, 浅田 昭(1998)日本海東縁部の変動地形, 月刊地球, 20, 8, pp.510-515.
- 活断層研究会編(1980)日本の活断層—分布図と資料, 東京大学出版会.
- 活断層研究会編(1991)新編日本の活断層—分布図と資料, 東京大学出版会.
- Katsumata, A. (2010) Depth of the Moho discontinuity beneath the Japanese islands estimated by travelttime analysis, Journal of Geophysical Research, 115, B04303, doi: 10.1029/2008JB005864.
- 勝俣 啓(2005)北海道地方の地殻内地震分布の上限・下限, 北海道大学地球物理学研究報告, 68, pp.153-159.

- 川村信人, 安田直樹, 渡辺暉夫, Fanning, M., 寺田 剛 (2000) 渡島帯ジュラ紀石英長石質砂岩の組成と供給地質体, 地質学論集, 57, pp. 63–72.
- 川村政和 (1998) 北海道ニセコ地域山麓における河川源流の水温とアニオン濃度分布の地域的特徴について, 地質調査所月報, 49, 8, pp. 413–424.
- 川野良信, 加々美寛雄 (1999) 西南北海道, 今金および久遠花崗閃緑岩体の微量元素組成および Sr, Nd 同位体組成, 地質学論集, 53, pp. 235–245.
- 河野義礼, 植田良夫 (1966) 本邦産火成岩の K-A dating (IV)—東北日本の花崗岩類—, 岩石鉱物鉱床学会誌, 56, 2, pp. 41–55.
- 河野義礼, 植田良夫 (1967) 本邦火成岩の K-Ar dating (VI)—花崗岩類, 総括—, 岩石鉱物鉱床学会誌, 57, 5, pp. 177–187.
- 風早康平, 高橋正明, 切田 司, 内藤一樹, 渡部芳夫 (2015) 日本列島におけるスラブ起源水の上昇地域の分布図, 地質調査総合センター研究資料集, 616.
- 経済企画庁 (1967) 50 万分の 1 土地分類図 (表層地質図 I) 北海道地方, 50 万分の 1 土地分類基本調査, 経済企画庁.
- 経済産業省 (2019) 海洋エネルギー・鉱物資源開発計画.
- 経済産業省資源エネルギー庁 (2001) 平成 12 年度 広域地質構造調査報告書 北海道南部地域.
- 経済産業省資源エネルギー庁 (2002) 平成 13 年度 広域地質構造調査報告書 北海道南部地域.
- 菊地宏吉, 水戸義忠 (1998) 国道 229 号線豊浜トンネル上部斜面の岩盤崩落メカニズムに関する地質工学的考察, 応用地質, 39, 5, pp. 456–470.
- 金原啓司, 阪口圭一 (1989) 日本の主要地熱地域の地質と温泉・変質帯分布, 地質調査所報告, 270.
- 木村栄ノ進 (1996) 「豊浜トンネル」崩落事故現場を視る, 北海道地理, 70, pp. 37–42.
- 木村 学 (2002) プレート収束帯のテクトニクス学, 東京大学出版会.
- 木下龜城 (1939) 北海道の黒物鑛床, 九州鑛山學會誌, 10, 10, pp. 423–439.
- 木下 修, 伊藤英文 (1992) 東北日本と西南日本の接近・接合について—白亜紀～古第三紀の東北日本の挙動—, 地質学雑誌, 98, 3, pp. 223–233.
- 岸本文男, 五十嵐俊雄, 椎名則子 (1979) 日本の金・銀・アンチモン・水銀・ひ素鉱床分布図, 200 万分の 1 地質編集図, 17-5, 地質調査所.
- 気象庁編 (1995) 平成 5 年 (1993 年) 北海道南西沖地震調査報告—災害時自然現象報告書—, 気象庁技術報告, 117.
- 気象庁: 地震月報 (カタログ編), <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>, 2023 年 5 月 18 日閲覧.
- 気象庁: 主な地震の発震機構解 (速報値) 地震別詳細 2022 年 12 月 15 日 13 時 30 分頃 後志地方西部 M4.3, <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/mech/fig/mc2022121513300000N424200E14018000124243.html>, 2023 年 2 月 21 日閲覧.
- 気象庁: 震源リスト, https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/daily_map/index.html, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 気象庁: 日本活火山総覧 (第 4 版) Web 掲載版, https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/souran/menu_jma_hp.html, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 気象庁: 発震機構解 (精査後), <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/mech/index.html>, 2023 年 5 月 15 日閲覧.
- 北村 信 (1978) 後期白亜紀以降の東北日本弧と日高弧, 地団研専報, 21, pp. 161–168.
- Kita, S., Hasegawa, A., Nakajima, J., Okada, T., Matsuzawa, T., Katsumata, K. (2012) High-resolution seismic velocity structure beneath the Hokkaido corner, northern Japan: Arc-arc collision and origins of the 1970 M 6.7 Hidaka and 1982 M 7.1 Urakawa-oki earthquakes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 117, B12301, doi: 10.1029/2012JB009356.
- Kita, S., Nakajima, J., Hasegawa, A., Okada, T., Katsumata, K., Asano, Y., Kimura, T. (2014) Detailed seismic attenuation structure beneath Hokkaido, northeastern Japan: Arc-arc collision process, arc magmatism, and seismotectonics, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 119, pp. 6486–6511.
- 紀藤典夫 (2015) 東北・北海道における最終氷期以降のブナ林の拡大, 森林立地, 57, 2, pp. 69–74.
- 小疇 尚 (1977) 化石周氷河現象, 日本第四紀学会編: 日本の第四紀研究—その発展と現状, 東京大学出版会, pp. 163–170.
- 小疇 尚, 福田正己, 石城謙吉, 酒井 昭, 佐久間敏雄, 菊地勝弘編 (1994) 日本の自然 地域編 1 北海道, 岩波書店.
- 小疇 尚, 野上道男, 小野有五, 平川一臣編 (2003) 日本の地形 2 北海道, 東京大学出版会.
- 児玉 浩, 宇井忠英 (1996) イワオヌプリ火山, ニトヌプリ火山, チセヌプリ火山における火山地質学的, 岩石学的研究, 日本火山学会講演予稿集, B6.
- 小池一之, 町田 洋編 (2001) 日本の海成段丘アトラス, 東京大学出版会.
- Koizumi, I. (1979) Age assignments for sediment samples cored and dredged, *Geological Investigation of the Japan Sea, April-June 1978 (GH78-2 Cruise)*, Cruise Report, 13, pp. 67–69, Geological Survey of Japan.
- 国土地理院 (1986) 北海道地方の水平歪, 地震予知連絡会会報, 35, pp. 8–11.
- 国土地理院 (1997) 日本の地殻水平歪図, <https://www.gsi.go.jp/cais/HIZUMI-hizumi.html>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.

- 国土地理院：日本列島の地殻変動，<https://www.gsi.go.jp/kanshi/>，2022年5月24日閲覧。
- 国土庁土地局（1975）縮尺20万分の1土地分類図付属資料 北海道I（石狩・後志・胆振支庁）。
- 国土交通省：国土地盤情報検索サイト KuniJiban，<http://www.kunijiban.pwri.go.jp>，2023年11月27日閲覧。
- 国土交通省：日本海における大規模地震に関する調査検討会，https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/daikibojishinchousa/，2022年5月24日閲覧。
- 国立防災科学技術センター（1969）第四紀地殻変動図。
- 国立防災科学技術センター（1973）第四紀地殻変動図説明書（概要）。
- 国立天文台編（2020）理科年表2021，丸善出版。
- 小松原 琢（2015）活断層の変位速度からみた日本弧のプレート配置—特にアムールプレート南東縁に関して—，活断層研究，43，pp. 17–34。
- 小松 亮，梅田浩司（1999）日本列島における温泉・熱水変質帯について，サイクル機構技報，4，pp. 121–128。
- 駒澤正夫，広島俊男，村田泰章，牧野雅彦，森尻理恵（1998）札幌地域重力図（ブーゲー異常），重力図，10，地質調査所。
- 駒澤正夫，広島俊男，石原丈実，村田泰章，山崎俊嗣，上嶋正人，牧野雅彦，森尻理恵，志知龍一，岸本清行，木川栄一（1999）日本重力図（ブーゲー異常），地質調査所。
- 国府谷盛明，土居繁雄（1961）5万分の1地質図幅「狩太」及び説明書，5万分の1地質図，札幌-第38号，北海道立地下資源調査所。
- 河野芳輝，島谷理香，寺島秀樹（2009）重力異常から推定される日本列島周辺の三次元地殻構造，地震 第2輯，61，特集号，pp. S247–S254。
- 小坂和夫，金折裕司，千木良雅弘，吉田鎮男編（2010）日本の断層マップ，培風館。
- 越谷 賢，丸井敦尚，伊藤成輝，吉澤拓也（2011）日本列島における三次元水文地質モデルの構築と地下水賦存量の試算，地下水学会誌，53，4，pp. 357–377。
- 越谷 賢，丸井敦尚（2012）日本列島における地下水賦存量の試算に用いた堆積物の地層境界面と層厚の三次元モデル（第一版），地質調査総合センター研究資料集，564。
- 興水達司，山崎 淳，加藤 誠（1986）西南北海道渡島半島新生界のフィッシュン・トラック年代，地質学雑誌，92，11，pp. 771–780。
- 小菅正裕，野呂康平，増川和真（2017）東北日本で発生する深部低周波地震の震源の時空間分布の特徴と地震波形の多様性，地震研究所彙報，92，pp. 63–80。
- Koulakov, I., Kukarina, E., Fathi, I. H., El Khrepy, S., Al-Arifi, N. (2015) Anisotropic tomography of Hokkaido reveals delamination-induced flow above a subducting slab, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 120, pp. 3219–3239.
- 久保和也，石田正夫，成田英吉（1983）長万部地域の地質，地域地質研究報告（5万分の1図幅），札幌（4）第48号，地質調査所。
- 久保和也，柴田 賢，石田正夫（1988）西南北海道，長万部地域の新第三紀火山岩類のK-Ar年代，地質学雑誌，94，10，pp. 789–792。
- 黒澤英樹，小坂英輝，三輪敦志，楮原京子，今泉俊文（2013）断層露頭の観測に基づく黒松内低地帯断層帯の活動性，日本地球惑星科学連合大会予稿集，SSS32-P02。
- 黒沢邦彦，田近 淳，八幡正弘，山岸宏光（1993）5万分の1地質図幅「大平山」及び説明書，5万分の1地質図，札幌-第47号，北海道立地下資源調査所。
- 日下部祐基，伊東佳彦（2015）凍結融解試験による岩石の強度劣化の定式化と物性値との関係，土木学会論文集C（地圏工学），71，1，pp. 47–54。
- 日下 哉，瀬川秀良，矢野牧夫，山田悟郎，尾上博章（1981）北海道黒松内低地帯の更新統から産出した植物遺体について，日本第四紀学会講演要旨集，11，p. 143。
- 日下 哉，鹿島愛彦，伊藤田直史，能條 歩，美利河海牛調査研究会（1996）日本で初めて発見された温水カルスト—北海道南西部今金町ピリカ鍾乳洞—，地球科学，50，5，pp. 403–407。
- 草野友宏，浅森浩一，梅田浩司（2012）日本列島における地下水・温泉ガスのヘリウム同位体比データベースの作成，JAEA-Data/Code 2012-017，日本原子力研究開発機構。
- 桑原拓一郎（2002）黒松内低地帯知来川断層周辺の踏査と長万部断層トレンチの観察，AFRC News，18，p. 3，産業技術総合研究所活断層研究センター。

L

- Lee, C., Wada, I. (2017) Clustering of arc volcanoes caused by temperature perturbations in the back-arc mantle, *Nature Communications*, 8, 15753, doi: 10.1038/ncomms15753.
- Lee, C., Wada, I. (2021) Volcano clustering promoted by the cessation of back-arc spreading and ensuing nascent lithospheric drips, *Geophysical Research Letters*, 48, e2020GL091433, doi: 10.1029/2020GL091433.
- Liu, X., Zhao, D., Li, S. (2013) Seismic heterogeneity and anisotropy of the southern Kuril arc: insight into megathrust earthquakes, *Geophysical Journal International*, 194, pp. 1069–1090.
- Liu, X., Zhao, D. (2016) Seismic velocity azimuthal anisotropy of the Japan subduction zone: Constraints from P and S wave traveltimes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 121, pp. 5086–5115.

- Liu, X., Zhao, D. (2017) P-wave anisotropy, mantle wedge flow and olivine fabrics beneath Japan, *Geophysical Journal International*, 210, pp. 1410–1431.
- Lyman, B. S., Muroe, H. S., Yamauchi, T., Akiyama, Y., Inagaki, T., Kuwada, T., Misawa, S., Takahashi, J., Kada, T., Ban, I., Saito, T., Shimada, J., Yamagiwa, E., Mayeda, S., Nishiyama, S. (1876) A geological sketch map of the Island of Yesso, Japan (日本蝦夷地質要畧之圖), *Geological Survey of Hokkaido*.
- M**
- 町田 洋, 新井房夫, 宮内崇裕, 奥村晃史 (1987) 北日本を広くおおう洞爺火山灰, *第四紀研究*, 26, 2, pp. 129–145.
- 町田 洋, 新井房夫 (2003) 新編 火山灰アトラス 日本列島とその周辺, 東京大学出版会.
- 牧野雅彦, 大久保泰邦, 中塚 正 (1992) 日本の磁気図及び説明書, 200 万分の 1 地質編集図, 23, *地質調査所*.
- 丸茂克美, 岡部賢二 (1983) 北海道蘭越町旭台の粘土鉱床, 未開発陶磁器原料資源調査報告書(昭和 57 年度), pp. 1–20, *地質調査所*.
- 丸茂克美 (1985) 西南北海道洞爺湖周辺地域に分布する変質帯の地質・鉱物学的検討, *鉱山地質*, 35, 5, pp. 331–344.
- 丸茂克美, 沢井長雄 (1986) 西南北海道グリーンタフ地域のいくつかの鉱床産変質岩の K-Ar 年代, *鉱山地質*, 36, 1, pp. 21–26.
- 丸山敏彦, 田辺雄三, 高野明富, 作田庸一, 高橋 徹, 藤原達郎, 長谷川 潔, 高橋功二, 庄谷幸夫, 黒沢邦彦 (1988) 昭和 62 年度共同研究報告書 レアメタル資源調査及び回収・精製技術, 北海道立工業試験場, 北海道立地下資源調査所.
- Matsubara, M., Sato, H., Uehira, K., Mochizuki, M., Kanazawa, T. (2017) Three-dimensional seismic velocity structure beneath Japanese Islands and surroundings based on NIED seismic networks using both inland and offshore events, *Journal of Disaster Research*, 12, 5, pp. 844–857.
- Matsubara, M., Sato, H., Uehira, K., Mochizuki, M., Kanazawa, T., Takahashi, N., Suzuki, K., Kamiya, S. (2019) Seismic velocity structure in and around the Japanese Island arc derived from seismic tomography including NIED MOWLA S Hi-net and S-net data, *Seismic Waves—Probing Earth System*, doi: 10.5772/intechopen.86936.
- Matsubara, M., Ishiyama, T., No, T., Uehira, K., Mochizuki, M., Kanazawa, T., Takahashi, N., Kamiya, S. (2022) Seismic velocity structure along the Sea of Japan with large events derived from seismic tomography for whole Japanese Islands including reflection survey data and NIED MOWLA S Hi-net and S-net data, *Earth, Planets and Space*, 74, 171, doi: 10.1186/s40623-022-01724-0.
- 松原 誠, 石山達也, 野 徹夫, 植平賢治, 望月将志, 金澤敏彦, 高橋成実, 神谷眞一郎 (2022) 日本列島下の三次元地震波速度構造 (2022 年度版), https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/sokudo_kozou/, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 松田時彦 (1975) 活断層から発生する地震の規模と周期について, *地震* 第 2 輯, 28, pp. 269–283.
- 松田時彦 (1990) 最大地震規模による日本列島の地震分帯図, *地震研究所彙報*, 65, pp. 289–319.
- 松田時彦, 吉川真季 (2001) 陸域の M \geq 5 地震と活断層の分布関係 —断層と地震の分布関係—その 2, *活断層研究*, 20, pp. 1–22.
- 松枝大治, 平間正男, 渡辺暉夫 (1996) 積丹半島豊浜トンネル崩落崖付近の水冷火砕岩類の変質作用, 北海道地区自然災害科学資料センター報告, 11, pp. 71–76.
- 松井公平 (1965) 岩内町雷電温泉 地下資源調査所報告, 34, p. 70.
- 松村 明 (1957) 後志国島牧村地内の銅・鉛・亜鉛・マンガン鉱床調査報告 I オープンセサミ鉱山の銅・鉛・亜鉛鉱床, 北海道地下資源調査資料, 32, pp. 38–47, 北海道開発庁.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 高見雅三, 若浜 洋, 岡崎紀俊 (1991) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集 ~ 1990, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 高見雅三, 若浜 洋, 岡崎紀俊 (1991) 北海道地熱・温泉ボーリング井索引図 ~ 1990, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄 (1992) 北海道の高濃度塩化物泉について, *地下資源調査所報告*, 64, pp. 17–30.
- 松波武雄, 高見雅三, 二間瀬 洌 (1994) ニセコ山系北麓岩内周辺の熱水系について, *地下資源調査所報告*, 66, pp. 1–26.
- 松波武雄 (1995) 北海道の海岸地域に分布する高濃度塩水について, *地下資源調査所報告*, 67, pp. 41–58.
- 松波武雄, 鈴木豊重, 藤本和徳, 秋田藤夫, 若浜 洋 (1996) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集 1991~1995, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄, 鈴木豊重, 藤本和徳, 秋田藤夫, 若浜 洋 (1996) 北海道地熱・温泉ボーリング井索引図 1991~1995, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄, 鈴木豊重 (1997) 西部北海道の基盤岩類と伝導卓越系温泉について, *地下資源調査所報告*, 68, pp. 1–16.
- 松波武雄, 鈴木隆広 (1997) 道内温泉水等の水素・酸素同位体比, *地下資源調査所報告*, 68, pp. 149–152.
- 松波武雄 (1998) 北海道の中性~アルカリ性硫酸塩泉について, *地下資源調査所報告*, 69, pp. 1–13.

- 松波武雄, 藤本和徳, 鈴木隆広 (2000) 北海道の温泉井と“新規温泉地”について, 北海道立地質研究所報告, 71, pp. 13–25.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 柴田智郎, 藤本和徳, 鈴木隆広, 高橋徹哉 (2001) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集 1996~2000, 北海道立地質研究所.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 柴田智郎, 藤本和徳, 鈴木隆広, 高橋徹哉 (2001) 北海道地熱・温泉ボーリング井索引図 1996~2000, 北海道立地質研究所.
- 松尾良子, 中川光弘 (2017) 北海道南西部ニセコ火山群, イワオヌプリ火山の形成史と活動年代, 日本地球惑星科学連合大会予稿集, SVC50-P13.
- 松島 健, 大島弘光 (1989) 長周期微動を用いた地下構造の推定—黒松内低地帯における探査例—, 物理探査, 42, 2, pp. 97–105.
- 松末和之, 藤原 治, 末吉哲雄 (2000) 日本列島における最終氷期最寒冷期の気候, サイクル機構技報, 6, pp. 93–104.
- 湊 正雄, 長谷川美行 (1959) 本邦溶結凝灰岩の研究 第1報 熱帯溶結凝灰岩について, 地質学雑誌, 65, 761, pp. 66–70.
- 湊 正雄 (1978) 北海道の古期火山噴出物, 地団研専報, 21, pp. 193–197.
- Miura, S., Sato, T., Hasegawa, A., Suwa, Y., Tachibana, K., Yui, S. (2004) Strain concentration zone along the volcanic front derived by GPS observations in NE Japan arc, *Earth, Planets and Space*, 56, pp. 1347–1355.
- Miyauchi, T. (1988) Late Pleistocene marine terrace correlation and chronology in the northern Northeast Japan, *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University*, 23, pp. 29–47.
- 宮内崇裕 (1988) 海成段丘の変位から知られる東北日本弧北部の褶曲運動, 月刊地球, 10, 9, pp. 561–567.
- 宮内崇裕 (1988) 東北日本北部における後期更新世海成面の対比と編年, 地理学評論, 61 (Ser.A), 5, pp. 404–422.
- Miyauchi, T. (1990) Late Quaternary folding deduced from marine terrace deformation in the northern Northeast Japan arc, *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University*, 25, pp. 99–108.
- 宮内崇裕 (1990) 旧汀線高度からみた東北日本弧北部の広域地殻変動, 米倉伸之, 岡田篤正, 森山昭雄編: 変動地形とテクトニクス, 古今書院, pp. 157–169.
- 宮内崇裕 (1990) 日本海東縁海岸地域の完新世地震性地殻変動, 地学雑誌, 99, 4, pp. 390–391.
- 宮内崇裕 (2012) 海岸部を襲う直下型地震: 懸念される海底活断層と地震性地殻変動, 科学, 82, 6, pp. 651–661.
- 宮内崇裕 (2013) 旧汀線情報による海底震源断層モデリング—日本海東縁ひずみ集中帯の地震ポテンシャル評価に向けて—, 日本活断層学会秋季学術大会講演予稿集, pp. 42–43.
- Mizutani, Y., Sugiura, T. (1982) Variations in chemical and isotopic compositions of fumarolic gases from Showashinzan volcano, Hokkaido, Japan, *Geochemical Journal*, 16, 2, pp. 63–71.
- 茂木昭夫 (1977) 日本近海海底地形誌—海底俯瞰図集, 東京大学出版会.
- 文部科学省研究開発局, 国立研究開発法人海洋研究開発機構: 海域における断層情報総合評価プロジェクト (平成 25 年度~令和元年度), https://www.jishin.go.jp/database/project_report/kaiiki/, 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 文部科学省研究開発局, 東京大学地震研究所: 「日本海地震・津波調査プロジェクト」成果報告書 (平成 25 年度~令和 2 年度), http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/Japan_Sea/houkokusyo.html, 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 森 宏, 阿部信太郎, 青柳恭平, 大上隆史 (2019) 1993 年北海道南西沖地震震源域南部の地質構造と震源断層の関係, 地震 第 2 輯, 71, pp. 233–241.
- 森木ひかる, 隈元 崇, 中田 高, 後藤秀昭, 泉 紀明, 西澤あずさ (2017) アナグリフ画像による日本周辺海底地すべりの判読と分布特性の検討, 海洋情報部研究報告, 54, pp. 1–16.
- 森野祐助, 大森一人, 鈴木隆広 (2020) ニセコ地域における表流水の水素・酸素安定同位体比分布, 北海道地質研究所報告, 91, pp. 23–28.
- Morishige, M., van Keken, P. E. (2014) Along-arc variation in the 3-D thermal structure around the junction between the Japan and Kurile arcs, *Geochemistry, Geophysics, Geosystems*, 15, pp. 2225–2240.
- Morishige, M. (2015) A new regime of slab-mantle coupling at the plate interface and its possible implications for the distribution of volcanoes, *Earth and Planetary Science Letters*, 427, pp. 262–271.
- 守屋以智雄 (1979) 日本の第四紀火山の地形発達と分類, 地理学評論, 52, 9, pp. 479–501.
- 守屋以智雄 (1979) 日本の第四紀前半の火砕流台地, 火山, 24, 2, p. 119.
- 守屋以智雄 (1983) 日本の火山地形, *UP Earth Science*, 東京大学出版会.
- 森谷武男 (1974) 北海道渡島半島における微小地震観測, 昭和 49 年度地震学会春季大会講演予稿集, 1, p. 41.
- 森谷武男 (1976) 北海道南西部における地震面の褶曲構造と地震波の減衰, [シンポジウム] 北海道およびその周辺の地下構造とその地学的意味, pp. 13–27.
- 森谷武男 (1984) 北海道内陸部における浅発地震のメカニズム解—1973 年以前とそれ以後の変化—, 地震学会講演予稿集昭和 59 年度春季大会, 1, p. 86.
- 森谷武男 (1986) 浅い地震活動と起震歪力から見た北海道のテクトニクス, 地団研専報, 31, pp. 475–485.

- 森谷武男 (1999) 北海道とその周辺における地震のメカニズム解から推定される地殻内部応力場, 月刊地球, 21, 9, pp. 557-564.
- 本山 功 (1999) 本邦含油新第三系をめぐる放散虫化石層序の進歩—石油探鉱への適用—, 石油技術協会誌, 64, 3, pp. 268-281.
- 本山 功 (2000) GH99 航海により日本海海底から採取された岩石・堆積物試料の放散虫化石による年代分析, 地質調査所速報, MG/00/1, pp. 94-98.
- 本谷義信 (1975) 札幌地震観測所における地震観測—札幌周辺の地震活動 (1973.7-1974) —, 北海道大学地球物理学研究報告, 34, pp. 55-65.
- 本谷義信 (1981) 北海道南西部の群発地震活動, 地震 第2輯, 34, pp. 105-121.
- 本谷義信 (1994) 北海道の活断層と微小地震, 北海道地区自然災害科学資料センター報告, 9, pp. 3-24.
- 向山 広, 中村真人, 井上雅弘, 木村 強 (1983) 東北日本におけるブロック運動と鮮新世以降の火山活動, 火山 第2集, 28, 4, pp. 395-408.
- 村上 亮, 小沢慎三郎 (2004) GPS 連続観測による日本列島上下地殻変動とその意義, 地震 第2輯, 57, pp. 209-231.
- 村松容一 (2018) 日本の水溶性天然ガス田におけるかん水の水質形成機構 (予察)—続成変質による間隙水の進化—, 温泉科学, 68, pp. 66-83.
- 村岡洋文, 阪口圭一, 玉生志郎, 佐々木宗建, 茂野 博, 水垣桂子 (2007) 日本の熱水系アトラス, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 村岡洋文, 阪口圭一, 玉生志郎, 佐々木宗建, 茂野 博, 水垣桂子, 駒澤正夫 (2009) 全国地熱ポテンシャルマップ, 数値地質図, GT-4, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- N**
- 長尾捨一 (1969) 北海道の構造性天然ガスについて, 地下資源調査所報告, 40, pp. 1-59.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1933) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (1), 地質学雑誌, 40, 480, pp. 555-577.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1933) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (2), 地質学雑誌, 40, 483, pp. 750-755.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1934) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (3), 地質学雑誌, 41, 485, pp. 47-60.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1934) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (4), 地質学雑誌, 41, 488, pp. 211-260.
- 内藤一樹 (2017) 国内の鈹床・鈹微地に関する位置データ集 (第2版), 地質調査総合センター速報, 73.
- Nakagawa, M. (1992) Chemical zonation of volcanoes at the northern end of NE Japan arc: K-Ar ages and geochemistry of some Pliocene and Pleistocene basalts from the western region of Sapporo, southwestern Hokkaido, Journal of mineralogy, petrology and economic geology, 87, pp. 460-466.
- Nakagawa, M. (1992) Spatial variation in chemical composition of Pliocene and Quaternary volcanic rocks in southwestern Hokkaido, northeastern Japan arc, Journal of the Faculty of Science, Hokkaido University. Series 4, Geology and mineralogy, 23, 2, pp. 175-197.
- 中川光弘, 丸山裕則, 船山 淳 (1995) 北海道第四紀火山の分布と主成分化学組成の広域変化, 火山, 40, 1, pp. 13-31.
- 中川光弘, 広瀬 亘, 岩崎深雪 (1999) 北海道の6Ma以降の火山活動の時空変遷から見た千島弧—東北日本弧会合部のテクトニクス変遷, 月刊地球, 21, 9, pp. 543-548.
- 中川光弘, 清野寛子 (2000) 東北日本弧背弧側、第四紀火山の成因: 日本海盆沈み込み可能性, 日本地質学会第107年学術大会講演要旨, O-315.
- 中川光弘 (2016) 北海道の活火山の活動の現況と今後, 第54回試錐研究会講演資料集, pp. 1-26, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 中川良三 (1985) 北海道の地熱地帯の噴気によって放出される水銀量, 日本化学会誌, 4, pp. 703-708.
- Nakajima, J., Hasegawa, A. (2021) Prevalence of shallow low-frequency earthquakes in the continental crust, Journal of Geophysical Research: Solid Earth, 126, e2020JB021391, doi: 10.1029/2020JB021391.
- Nakamura, M., Yoshida, Y., Zhao, D., Takayama, H., Obana, K., Katao, H., Kasahara, J., Kanazawa, T., Kodaira, S., Sato, T., Shiobara, H., Shinohara, M., Shimamura, H., Takahashi, N., Nakanishi, A., Hino, R., Murai, Y., Mochizuki, K. (2008) Three-dimensional P- and S-wave velocity structures beneath Japan, Physics of the Earth and Planetary Interiors, 168, pp. 49-70.
- Nakamura, R., Shiina, T. (2019) Three-dimensional S-wave attenuation structure in and around source area of the 2018 Hokkaido Eastern Iburu Earthquake, Japan, Earth, Planets and Space, 71:114, doi: 10.1186/s40623-019-1095-6.
- 中野 俊, 西来邦章, 宝田晋治, 星住英夫, 石塚吉浩, 伊藤順一, 川辺禎久, 及川輝樹, 古川竜太, 下司信夫, 石塚 治, 山元孝広, 岸本清行編 (2013) 日本の火山 (第3版), 200万分の1地質編集図, 11, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 中田英二, 田中和広 (2001) マグマの貫入が岩盤に与える影響—活火山周辺に分布するマグマ噴出跡の分布—, 日本応用地質学会平成13年度研究発表会講演論文集, pp. 55-58.
- 中谷真英, 梅田克史, 鈴木晴美, 諏訪 至 (2019) 山岳トンネルの斜坑・本坑交差部における設計・施工について, 西松建設技報, 42, 5.
- 中田 高, 今泉俊文編 (2002) 活断層詳細デジタルマッ

- プ, 東京大学出版会.
- 中田 高 (2015) 詳細 DEM 画像による日本列島周辺海域の変動地形学的研究, 科学研究費助成事業研究成果報告書.
- 中塚 正, 大熊茂雄 (2009) 日本空中磁気DBによる対地 1,500m平滑面での磁気異常分布データの編集, 地質調査総合センター研究資料集, 516.
- 成田英吉, 矢島淳吉, 太田英順, 渡辺 寧, 羽坂俊一, 羽坂なな子, 平野英雄, 須藤定久 (1996) 鉱物資源図北海道 (東部・西部), 鉱物資源図, 1, 地質調査所.
- 那須孝悌 (1985) 先土器時代の環境, 近藤義郎, 横山浩一, 甘粕 健, 加藤晋平, 佐原 真, 田中 琢, 戸沢充則編: 岩波講座 日本考古学 2 人間と環境, 岩波書店, pp. 51-109.
- 日本地熱資源開発促進センター (1979) 地熱開発基礎調査報告書 No.8 大平山 そのIII (昭和 53 年度) .
- 日本地質学会編 (2010) 日本地方地質誌 1 北海道地方, 朝倉書店.
- 日本第四紀学会編 (1987) 日本第四紀地図 解説, 東京大学出版会.
- 日本鉱業協会探査部会 (1965) 日本の鉱床総覧 (上巻), 日本鉱業協会.
- 日本鉱業協会探査部会 (1968) 日本の鉱床総覧 (下巻), 日本鉱業協会.
- 日本の地質『北海道地方』編集委員会編 (1990) 日本の地質 1 北海道地方, 共立出版.
- 日本の地質増補版編集委員会編 (2005) 日本の地質 増補版, 共立出版.
- 西田泰典, 橋本武志 (2007) 北海道における地殻, 上部マントルの熱的構造: 総合報告, 北海道大学地球物理学研究報告, 70, pp. 1-12.
- 西来邦章, 伊藤順一, 上野龍之編 (2012) 第四紀火山岩体・貫入岩体データベース, 地質調査総合センター速報, 60, <https://unit.aist.go.jp/ievg/dger/db/QVDB/>, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 西来邦章, 伊藤順一, 上野龍之, 内藤一樹, 塚本 斉 (2014) 第四紀噴火・貫入活動データベース, https://gbank.gsj.jp/quaternary/index_qvir.php, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 西村卓也 (2017) GNSS データから見出される日本列島のひずみ集中帯と活断層及び内陸地震, 活断層研究, 46, pp. 33-39.
- Niu, X., Zhao, D., Li, J., Ruan, A. (2016) P wave azimuthal and radial anisotropy of the Hokkaido subduction zone, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 121, pp. 2636-2660.
- 野原 壯, 郡谷順英, 今泉俊文 (2000) 活断層 GIS データを用いた地殻の歪速度の推定, 活断層研究, 19, pp. 23-32.
- 能條 歩, 都郷義寛, 鈴木明彦, 嵯峨山 積 (1994) 西南北海道今金地域の第三系黒松内層の岩相層序と年代, 地質学雑誌, 100, 10, pp. 771-786.
- 能條 歩, 鈴木明彦, 日下 哉, 都郷義寛 (1994) 西南北海道今金地域の黒松内層今火山岩類の K-Ar 年代, 地球科学, 48, 1, pp. 57-62.
- 能條 歩, 鈴木明彦, 松田敏孝, 都郷義寛 (1996) 西南北海道における黒松内層相当層の再検討, 日本地質学会第 103 年学術大会講演要旨, p. 110.
- 能條 歩, 鈴木明彦, 都郷義寛, 美利河海牛化石調査研究会 (1996) 西南北海道瀬棚層の堆積年代, 今金地域研究, 2, pp. 15-22.
- 能條 歩, 松田敏孝 (1997) 西南北海道今金-上八雲地域の瀬棚層の“不整合”, 今金地域研究, 3, pp. 15-28.
- 能條 歩, 都郷義寛, 鈴木明彦, 嶋田智恵子, 板木拓也 (1997) 西南北海道日本海側熊石-乙部地域の鮮新統~更新統の堆積年代, 地球科学, 51, 3, pp. 245-250.
- 能條 歩, 鈴木明彦 (1999) 貝殻密集層のタフォノミー—軟体動物化石と有孔虫化石の複合解析による堆積過程の復元—, 地質学論集, 54, pp. 35-54.
- 能條 歩, 長谷川四郎, 岡田尚武, 都郷義寛, 鈴木明彦, 松田敏孝 (1999) 西南北海道瀬棚層の広域的岩相層序区分と生層序年代, 地質学雑誌, 105, 5, pp. 370-388.
- 能條 歩, 板木拓也, 石村豊穂 (2003) 北海道における新生界の微化石研究—1990 年以降の研究成果の総括と今後の課題—, 地球科学, 57, 6, pp. 343-355.
- 農商務省地質調査所 (1899) 百萬分一日本帝國地質圖および説明書.

O

- 大場与志男 (1960) ニセコ火山群の岩石について, 地質学雑誌, 66, 783, pp. 788-799.
- 小倉信雄, 鈴木良一 (1971) 国富鉱山付近の地質構造, 火成活動および鉱化作用について, 鉱山地質, 21, 3, pp. 195-207.
- 小原常弘, 松下勝秀, 佐藤泰子 (1985) 北海道の地質と資源 IV 北海道の水資源, 北海道立地下資源調査所.
- 大日方順三 (1912) 後志国及渡島国ノ鉱床調査報文 後志国寿都地方ノ金属鉱, 鑛物調査報告 (北海道之部), 12, pp. 41-72, 地質調査所.
- 大日方順三 (1912) 後志國及渡島國ノ鑛床調査報文 後志國瀬棚地方ノ滿庵鑛, 鑛物調査報告 (北海道之部), 12, pp. 1-40, 地質調査所.
- 大森博雄 (1973) 北海道南部の「三万年段丘」について, 日本第四紀学会講演要旨集, 2, p. 20.
- 大森博雄 (2001) 日本島山地における隆起と侵蝕のダイナミクス, 月刊地球, 号外 32, pp. 14-21.
- 大森一人, 鈴木隆広, 石畑隆史 (2016) 地熱水化学成分のモニタリング結果—洞爺湖温泉地区 地熱調査ボーリング (KH-1 井)—, 北海道地質研究所報告, 88, pp. 31-35.
- 大森一人, 鈴木隆広, 田村 慎, 石畑隆史 (2016) 地熱水化学成分のモニタリング結果—洞爺湖温泉地域における地熱構造ボーリング井 (KH-1) —, 平成 28 年度環境・地質研究本部 調査研究成果発表会地質研究

- 所要旨集, p. 10.
- 大森一人 (2018) 泉質分析による温泉水の起源と成因の推定, 平成 30 年度調査研究成果発表会資料集, p. 48, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 大森一人, 鈴木隆広 (2018) ニセコ火山群周辺の温泉水の化学組成 (その 1), 北海道地質研究所報告, 90, pp. 49–55.
- 大森一人 (2020) 化学成分から分類した温泉水の起源と地理的關係, 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 調査研究成果資料集 令和 2 年度 (2020 年度), S-3.
- 大森一人, 鈴木隆広 (2020) ニセコ火山群周辺の温泉水の化学組成 (その 2), 北海道地質研究所報告, 91, pp. 17–22.
- 大嶋和雄, 横田節哉 (1983) 噴火湾の地形・地質, 沿岸海洋研究ノート, 20, 2, pp. 189–203.
- Ohta, E., Kawano, Y., Nakagawa, M., Kagami, H. (1998) Petrochemistry of late Miocene to Quaternary igneous rocks and metallogenesis in Southwest Hokkaido, Japan, *Resource Geology*, 48, 3, pp. 183–196.
- 大竹政和 (1998) 日本海東縁部の地震発生ポテンシャル, 月刊地球, 20, 8, pp. 449–453.
- 大竹政和, 平 朝彦, 太田陽子編 (2002) 日本海東縁の活断層と地震テクトニクス, 東京大学出版会.
- 大津 直 (1991) 真狩村の地質と温泉ボーリング, 第 29 回試錐研究会講演資料集, pp. 85–94, 北海道立地下資源調査所.
- 大園真子 (2013) GPS 観測に基づく北海道地方の 2011 年東北地方太平洋沖地震 (Mw9.0) に伴うひずみの時空間変化, 北海道大学地球物理学研究報告, 76, pp. 97–110.
- 及川輝樹 (2011) 江戸時代における北海道の噴煙活動と噴火活動の關係, 日本火山学会講演予稿集, B1-14.
- 岡 大輔 (2018) 重力探査・電磁探査による地下構造調査, 平成 30 年度調査研究成果発表会資料集, p. 47, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- Oka, D., Tamura, M., Mogi, T., Nakagawa, M., Takahashi, H., Ohzono, M., Ichiyanagi, M. (2023) Conceptual model of supercritical geothermal system in Shiribeshi Region, Hokkaido, Japan, *Geothermics*, 108, 102617, doi: 10.1016/j.geothermics.2022.102617.
- 岡村 聡 (1984) 西南北海道寿都半島における新第三系と火山活動, 地質学雑誌, 90, 6, pp. 383–391.
- 岡村 聡 (1986) 西南北海道寿都半島の新第三紀火山岩類, 地質学雑誌, 92, 2, pp. 91–108.
- 岡村 聡 (1986) 西南北海道新生代火山岩類の化学組成の時間変遷, 地団研専報, 31, pp. 345–353.
- 岡村 聡, 石井次郎, 渡辺 寧 (1989) 日本海北東縁, 二子海丘から採取された火山岩片と K-Ar 年代, 岩鉱, 83, 1, pp. 32–36.
- 岡村 聡 (2022) 寿都町・神恵内村は深地層処分の適地か?—地質学的視点から考える—, 地学教育と科学運動, 89, pp. 41–47.
- 岡村行信 (1998) 日本海東縁海域の逆断層と地殻短縮量推定の試み, 月刊地球, 20, 8, pp. 460–465.
- 岡村行信, 倉本真一, 佐藤幹夫 (1998) 日本海東縁海域の活構造およびその地震との關係, 地質調査所月報, 49, 1, pp. 1–18.
- 岡村行信 (2010) 日本海東縁の地質構造と震源断層との關係, 地質学雑誌, 116, 11, pp. 582–591.
- 岡村行信 (2013) 日本海の地形・地質調査から分かる活断層, 地震予知連絡会会報, 90, pp. 530–536.
- 岡村行信 (2019) 日本海における活断層の分布と今後の課題, 地震 第 2 輯, 71, pp. 185–199.
- 岡村行信, 佐藤太一 (2023) 積丹半島付近海底地質図, 海洋地質図, 94, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 岡 孝雄, 三谷勝利 (1981) 今金町の地質, 今金町.
- 岡 孝雄 (1986) 北海道の後期新生代堆積盆の分布とその形成に関わるテクトニクス, 北海道の地質と構造運動, 地団研専報, 31, pp. 295–320.
- 岡 孝雄 (1996) 518 北海道とその周辺地域の第四紀地殻変動量解析結果とネオテクトニクス区分, 日本地質学会第 103 年学術大会講演要旨, p. 366.
- 岡 孝雄 (1997) 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題—付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察—, 川村信人, 岡 孝雄, 近藤 務編: 加藤誠教授退官記念論文集, 加藤誠教授退官記念論文集刊行委員会, pp. 427–449.
- 岡 孝雄 (1997) 北海道のネオテクトニクス区分と地震問題, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, pp. 41–44.
- 岡 孝雄 (1999) 北海道付近のネオテクトニクス像—特にネオテクトニクスの地域区分と特徴—, 月刊地球, 21, 9, pp. 549–556.
- 岡 孝雄 (2006) 北海道沿岸域の沖積層研究の現状, 地質学論集, 59, pp. 53–72.
- 大久保泰邦 (1984) 全国のキュリー点解析結果, 地質ニュース, 362, pp. 12–17, 地質調査所.
- Okubo, Y., Tsu, H., Ogawa, K. (1989) Estimation of Curie point temperature and geothermal structure of island arcs of Japan, *Tectonophysics*, 159, 3-4, pp. 279–290.
- 大久保泰邦 (1993) 日本列島の温度勾配図, 日本地熱学会誌, 15, 1, pp. 1–21.
- 大久保泰邦, 秋田藤夫, 田中明子 (1997) 北海道の温度勾配図とシミュレーション, 地質ニュース, 517, pp. 24–29, 地質調査所.
- 大久保泰邦, 秋田藤夫, 田中明子 (1998) 地温勾配図作成と地下温度構造を求める試み—北海道の例—, 日本地熱学会誌, 20, 1, pp. 15–29.
- 奥村晃史 (1983) 黒松内低地帯の活構造と地形発達, 日

- 本地理学会予稿集, 23, pp. 30–31.
- 奥村晃史, 寒川 旭 (1984) 洞爺火砕流 (Tpfl) の分布と絶対年代, 火山 第2集, 29, 4, p. 338.
- 奥村晃史, 八木浩司, 寒川 旭 (1984) 黒松内低地帯の後期更新世段丘に関する年代資料, 第四紀研究, 23, 3, pp. 209–212.
- 奥村晃史 (1988) 北海道の第四紀地殻変動とプレート運動, 日本地理学会予稿集, 34, pp. 18–19.
- 奥村晃史 (2013) 8-7 更新世海成段丘と広域地殻変動—北海道を例に—, 日本第四紀学会 50 周年電子出版編集委員会編: デジタルブック最新第四紀学 (第2刷), 日本第四紀学会, pp. 8-138–8-155.
- Okuno, J., Nakada, M., Ishii, M., Miura, H. (2014) Vertical tectonic crustal movements along the Japanese coastlines inferred from late Quaternary and recent relative sea-level changes, *Quaternary Science Reviews*, 91, pp. 42–61.
- 奥野 充 (2003) ニセコ・イワオヌプリ, 大雪山・旭岳, 屈斜路・アトサヌプリにおける最新噴火の年代学的研究, 北海道における完新世火山の火山活動特性の評価, 平成 12 年度～平成 14 年度科学研究費補助金(基礎研究(C)(2))研究成果報告書(課題番号 12640461), pp. 13–23.
- Omuralieva, M. A., Hasegawa, A., Matsuzawa, T., Nakajima, J., Okada, T. (2012) Lateral variation of the cutoff depth of shallow earthquakes beneath the Japan Islands and its implications for seismogenesis, *Tectonophysics*, 518-521, pp. 93–105.
- 尾上博章, 日下 哉, 瀬川秀良, 山田悟郎, 三野紀雄, 矢野牧夫 (1981) 渡島半島黒松内低地帯の更新統から産出する植物化石, 北海道開拓記念館研究年報, 9, pp. 17–25.
- 小野晃司, 曾屋龍典, 三村弘二編 (1981) 日本の火山 (第2版), 200 万分の1地質編集図, 11, 地質調査所.
- 小野修司, 平井浩二, 松枝大治 (2001) 西南北海道寿都鉾床の多金属鉍化作用, 資源地質学会第 51 回年会講演会講演要旨集, P-35.
- Ono, S., Hirai, K., Matsueda, H., Kabashima, T. (2004) Polymetallic mineralization at the Suttu vein-type deposit, southwestern Hokkaido, Japan, *Resource Geology*, 54, 4, pp. 453–464.
- Ono, Y. (1984) Last Glacial paleoclimate reconstructed from glacial and periglacial landforms in Japan, *Geographical Review of Japan*, 57 (Ser. B), 1, pp. 87–100.
- 小野有五 (1988) 最終氷期における東アジアの雪線高度と古気候, 第四紀研究, 26, 3, pp. 271–280.
- 小野有五 (1990) 北の陸橋, 第四紀研究, 29, 3, pp. 183–192.
- Ono, Y. (1991) Glacial and periglacial paleoenvironments in the Japanese Islands, *The Quaternary Research*, 30, 2, pp. 203–211.
- 小野有五, 五十嵐八枝子 (1991) 北海道の自然史—氷期の森林を旅する—, 北海道大学図書刊行会.
- Ono, Y., Irino, T. (2004) Southern migration of westerlies in the Northern Hemisphere PEP II transect during the Last Glacial Maximum, *Quaternary International*, 118-119, pp. 13–22.
- 小野有五, 齊藤海三郎 (2019) 北海道西部, 岩内平野の地形発達史—泊原発の敷地内断層と関連して—, 活断層研究, 51, pp. 27–52.
- 小野有五 (2021) 寿都町, 神恵内村で明らかになった「核のゴミ」地層処分の問題点, *科学*, 91, 1, pp. 90–104.
- Ooi, N. (2016) Vegetation history of Japan since the last glacial based on palynological data, *Japanese journal of historical botany*, 25, 1-2, pp. 1–101.
- 大谷武史 (1999) 北海道後志地方沿岸の波食棚について, *北海道地理*, 73, pp. 57–68.
- 太田良平 (1956) 5 万分の1地質図幅「虻田」及び説明書, 5 万分の1地質図, 札幌-第 50 号, 地質調査所.
- 太田陽子, 松島義章, 海津正倫 (1988) 日本列島の縄文海進高頂期の海岸線図について, *地図*, 26, 1, pp. 25–29.
- Ota, Y., Omura, A. (1991) Late Quaternary shorelines in the Japanese Islands, *The Quaternary Research*, 30, 2, pp. 175–186.
- 大槻憲四郎 (1989) 鉍脈による新第三紀東北本州弧の造構応力場復元, *地質学論集*, 32, pp. 281–304.

S

- 嵯峨山 積 (1988) 日本海盆北東縁, 海洋海山の珪藻群集, *地質学雑誌*, 94, 4, pp. 295–300.
- 嵯峨山 積, 保柳康一, 石井次郎 (1988) 北海道積丹半島沖海洋火山, 1988 年調査で採取された堆積岩中の珪藻群集, *北海道東海大学紀要理工学系*, 1, pp. 17–21.
- Sagayama, T. (1997) Evidence of lower sea-level stage during 10.5 to 5.5 Ma in the hot spring drillhole of Niseko, southwest Hokkaido, Japan, *Commemorative Volume for Professor Makoto Kato*, pp. 381–387.
- 嵯峨山 積, 内田康人, 村山泰司, 菅 和哉, 濱田誠一 (1999) 1998 年浅海域地質調査 (西南北海道海域) の概要—岩内海域および島牧・寿都海域—, 地下資源調査所報告, 70, pp. 149–160.
- 嵯峨山 積 (2000) 北海道の新生界中部中新統～鮮新統層序と堆積盆の動き, *北海道立地質研究所報告*, 71, pp. 59–102.
- 嵯峨山 積, 内田康人, 大澤賢人, 菅 和哉, 濱田誠一, 村山泰司, 仁科健二 (2000) 北海道沿岸域の地質・底質環境—2— 西南北海道海域, 北海道立地質研究所調査研究報告, 29.
- Sagiya, T., Miyazaki, S., Tada, T. (2000) Continuous GPS array and present-day crustal deformation of

- Japan, Pure and Applied Geophysics, 157, pp. 2303–2322.
- Sagiya, T. (2004) A decade of GEONET: 1994–2003 — The continuous GPS observation in Japan and its impact on earthquake studies—, Earth, Planets and Space, 56, pp. xxix–xli.
- 鷺谷 威, 大坪 誠 (2019) 日本列島の地殻ひずみ速度—測地学的データと地質・地形学的データの統一的理解—, 地学雑誌, 128, 5, pp. 689–705.
- 斉藤 紘, 神山 敦, 坂下正弘 (1990) 北海道の金属・非金属鉱物資源, 浦島幸世教授退官記念論文集, pp. 303–314.
- 齋藤 仁 (1962) 北海道の鉱泉資源, 地下資源調査所報告, 28, pp. 1–88.
- 齋藤正雄 (1953) 北海道歌棄郡大金鉱山金・銀鉱床調査報告, 地質調査所月報, 4, 7, pp. 435–446.
- 斉藤正雄, 五十嵐昭明, 番場猛夫, 沢 俊明, 山田敬一, 成田英吉 (1963) 北海道金属非金属鉱床総覧 I. 新第三紀後期-第四紀の鉱化作用, 地質調査所.
- 斉藤正雄, 番場猛夫, 沢 俊明, 成田英吉, 五十嵐昭明, 山田敬一, 佐藤博之 (1967) 北海道金属非金属鉱床総覧, 地質調査所.
- 齋藤正次 (1953) 300 万分の 1 日本地質図, 地質調査所.
- 齋藤昌之, 藤原哲夫, 石山昭三, 松井公平 (1956) 5 万分の 1 地質図幅「留寿都」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 39 号, 北海道開発庁.
- 坂川幸洋, 梅田浩司, 鈴木元孝, 梶原竜哉, 内田洋平 (2004) 日本の坑井温度プロファイルデータベース, 地震 第 2 輯, 57, 1, pp. 63–67.
- Sakaguchi, Y. (1989) Some pollen records from Hokkaido and Sakhalin, Bulletin of the Department of Geography, University of Tokyo, 21, pp. 1–17.
- 酒匂純俊, 佐藤 巖, 二間瀬 洌, 重山 武 (1966) 島牧村の温泉資源について, 地下資源調査所報告, 36, pp. 39–47.
- 酒匂純俊, 和気 徹, 早川福利, 二間瀬 洌, 横山英二, 齋藤尚志, 松波武雄, 内田 豊 (1976) 北海道の地熱・温泉 (A) 西南北海道中南部, 地下資源調査所調査研究報告, 3.
- 酒匂純俊, 和気 徹, 早川福利, 二間瀬 洌, 横山英二, 松波武雄, 齋藤尚志, 内田 豊 (1977) 北海道の地熱・温泉 (B) 西南北海道北部, 地下資源調査所調査研究報告, 4.
- 酒匂純俊, 鈴木 守, 長谷川 潔, 高橋功二, 松下勝秀, 舟橋三男 (1980) 北海道の地質と資源 I 北海道の地質—北海道地質図—, 60 万分の 1 地質図, 北海道立地下資源調査所.
- 寒川 旭, 衣笠善博, 垣見俊弘 (1984) 50 万分の 1 活構造図「札幌」, 50 万分の 1 活構造図, 4, 地質調査所.
- 産業技術総合研究所 (2005) 活断層調査研究成果報告書
11. 黒松内低地断層帯.
産業技術総合研究所: 活断層データベース, <https://gbank.gsj.jp/activefault/>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所: 高分解能音波探査断面データベース (3.5kHz SBP), https://gbank.gsj.jp/sbp_db/pages/cover.html, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所: 地下構造可視化システム, <https://gbank.gsj.jp/subsurface/>, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2002) 北海道地質ガイド第 2 版, 数値地質図, G-7.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2003) 100 万分の 1 日本地質図第 3 版 CD-ROM 版第 2 版, 数値地質図, G-1.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2003) 200 万分の 1 日本地質図第 5 版 CD-ROM 版, 数値地質図, G-10.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2005) 日本温泉・鉱泉分布図及び一覧 (第 2 版) CD-ROM 版, 数値地質図, GT-2.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2005) 日本空中磁気データベース, 数値地質図, P-6.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2013) 日本重力データベース DVD 版, 数値地質図, P-2.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2020) 20 万分の 1 日本火山図 (Ver. 1.0d), <https://gbank.gsj.jp/volcano/vmap/>, 2022 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2022) 20 万分の 1 日本シームレス地質図 V2, <https://gbank.gsj.jp/seamless/v2.html>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター: 地殻応力場データベース, <https://gbank.gsj.jp/crstress/>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター: 海域地質構造データベース, <https://gbank.gsj.jp/marineseisdb/>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター: 第四紀火山, https://gbank.gsj.jp/volcano/Quat_Vol/index.html, 2023 年 9 月 27 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター: 地質図表示システム 地質図 Navi, <https://gbank.gsj.jp/geonavi/>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター: 地熱情報データベース (GRES-DB), <https://gbank.gsj.jp/gres-db/>, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター: 日本の活火山, https://gbank.gsj.jp/volcano/Act_Vol/index.html, 2022 年 5 月 10 日閲覧.
- Sano, Y., Wakita, H. (1985) Geographical distribution of $^3\text{He}/^4\text{He}$ ratios in Japan: Implications for arc tectonics and incipient magmatism, Journal of Geophysical Research, 90, B10, pp. 8729–8741.
- 笹木 敏, 藤田定美 (1963) 樽岸地区, 国内鉄鋼原料調

- 査 第1報, pp. 89–92, 通商産業省.
- 佐藤文俊 (1985) 北部八雲地域の新第三系より産出する珪藻化石について, 地質学会北海道支部総会講演要旨集, p. 5.
- 佐藤比呂志 (1989) 東北本州弧における後期新生界の変形度について, 地質学論集, 32, pp. 257–268.
- 沢田義男 (1961) 北海道瀬棚郡今金町北方の新第三紀層, 室蘭工業大学研究報告, 3, 4, pp. 635–646.
- Sawada, Y. (1962) The Geology and Paleontology of the Setana and Kuromatsunai Areas in Southwest Hokkaido, Japan, *Memoirs of the Muroran Institute of Technology*, 4, 1, pp. 1–110.
- 沢井長雄, 板谷徹丸 (1993) 西南北海道積丹–洞爺地域の黒鉍型鉍床の K-Ar 年代, 資源地質, 43, 3, pp. 165–172.
- 沢井長雄, 板谷徹丸 (2015) 西南北海道積丹–洞爺地域の熱水鉍床の K-Ar 年代, 地質技術, 5, pp. 1–10.
- 沢 俊明, 山田敬一, 成田英吉, 斎藤正雄, 番場猛夫, 五十嵐昭明 (1963) 北海道金属非金属鉍床総覧 II. 新第三紀の鉍化作用, 地質調査所.
- 瀬川秀良 (1966) 噴火湾西岸北部海岸段丘構成物の堆積環境, 東北地理, 18, 1, p. 37.
- 瀬川秀良 (1967) 北海道寿都地方の海岸段丘, 東北地理, 19, 1, pp. 10–14.
- 瀬川秀良 (1971) 渡島半島における周氷河現象の例, 東北地理, 23, 2, p. 118.
- 瀬川秀良 (1972) 噴火湾における長万部段丘礫層上の泥炭層の ^{14}C 年代, 地質学雑誌, 78, 1, pp. 51–52.
- 瀬川秀良 (1974) 日本地形誌 北海道地方, 朝倉書店.
- 石油技術協会 (1993) 最近の我が国の石油開発 石油技術協会創立 60 周年記念.
- 浅成金銀鉍床探査に関する研究会編 (1990) 日本金山誌 第2編 北海道, 資源・素材学会.
- 柴田智郎, 高橋徹哉, 岡崎紀俊, 廣瀬 亘, 秋田藤夫, 高橋 良 (2010) ニセコ地域の温泉資源に関する研究 (東部～南部地域), 平成 22 年地質研究所調査研究成果報告会報告資料集, p. 28, 北海道立総合研究機構地質研究所.
- 柴田智郎 (2011) 化学組成からみたニセコ地域の温泉—南部から東部の温泉の特徴—, 第 49 回試錐研究会講演資料集, pp. 50–56, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 柴田智郎, 高橋徹哉, 岡崎紀俊, 高橋 良, 秋田藤夫 (2011) ニセコ地域南部から東部山麓における温泉の地域的特徴について, 北海道地質研究所報告, 82, pp. 1–8.
- 柴田智郎, 秋田藤夫, 高橋徹哉, 岡崎紀俊 (2011) ニセコ地域における温泉湧出量と降水量の関係, 北海道地質研究所報告, 83, pp. 63–65.
- 資源庁鉍山保安局 (1952) 寿都鉍山地形図.
- 茂野 博 (2011) 北海道 胆振地方, 白老地域と周辺 3 広域地域の「温泉水」の地球化学・同位体化学的な特徴と起源—「深層熱水型資源」・「大深度 (掘削) 温泉」の事例研究—, 地質調査研究報告, 62, 3/4, pp. 143–176.
- Shiina, T., Takahashi, H., Okada, T., Matsuzawa, T. (2018) Implications of seismic velocity structure at the junction of Kuril-northeastern Japan arcs on active shallow seismicity and deep low-frequency earthquakes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 123, pp. 8732–8747.
- 島田忠夫, 矢崎清貫, 粕 武 (1955) 北海道長万部町における天然ガス試掘井 (長万部 R-1 号) のコア一試験およびリフト試験について, 石油技術協会誌, 20, 5, pp. 164–171.
- 島田忠夫, 矢崎清貫 (1959) 北海道長万部町天然ガス地質調査報告, 北海道地下資源調査資料, 48, pp. 61–67, 北海道開発庁.
- 島田忠夫, 矢崎清貫, 粕 武 (1959) 北海道長万部町天然ガス地化学探査報告, 北海道地下資源調査資料, 48, pp. 1–59, 北海道開発庁.
- 嶋村 清 (2008) 改訂「日本列島海底谷系図」—海底谷の地形的特徴と問題点—, 地質学雑誌, 114, 11, pp. 560–576.
- 清水文健, 井口 隆, 大八木規夫 (2010) 地すべり地形分布図第 45 集「岩内」, 防災科学技術研究所研究資料, 339.
- 清水文健, 井口 隆, 大八木規夫 (2010) 地すべり地形分布図第 44 集「室蘭・久遠」, 防災科学技術研究所研究資料, 338.
- Shimokawa, K., Azuma, T., Sugiyama, Y., Sangawa, A., Kuwabara, T., Okumura, K., Kurosawa, H., Miwa, A. (2003) Preliminary report of paleoseismological study on the Kuromatsunai lowland fault zone, Southwest Hokkaido, northern Japan., *EOS, Transactions, American Geophysical Union 2003 AGU Fall Meeting*, 84, 46 supplement, F1352.
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (2021) 2018 年度～2020 年度成果報告書 超臨界地熱発電技術研究開発/超臨界地熱資源の評価と調査井仕様の詳細設計/東日本・九州地域における超臨界地熱資源有望地域の調査と抽熱可能量の推定.
- 新エネルギー総合開発機構 (1983) 胆振地域, 地熱開発促進調査報告書, 4.
- 新エネルギー総合開発機構 (1985) 昭和 59 年度全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ① (ニセコ地域) 調査 火山岩分布年代調査報告書.
- 新エネルギー総合開発機構 (1985) 昭和 59 年度全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ① (ニセコ地域) 調査 火山岩分布年代調査報告書要旨.
- 新エネルギー総合開発機構 (1986) 昭和 60 年度全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ

- プ①(ニセコ地域)調査 火山岩分布年代調査報告書. 新エネルギー総合開発機構(1987)全国地熱資源総合調査(第2次)火山性熱水対流系地域タイプ①ニセコ地域火山地質図及び地熱地質編図.
- 新エネルギー総合開発機構(1987)昭和61年度全国地熱資源総合調査(第2次)火山性熱水対流系地域タイプ①(ニセコ地域)地熱調査成果図集.
- 四宮 博(2001)洞爺湖温泉の泉源管理と噴火による影響, 第39回試錐研究会講演資料集, pp. 65-84, 北海道立地質研究所.
- 白井健裕(1959)瀬棚層産化石有孔虫群集を中心とする黒松内地域の地質について—北日本新第三紀化石有孔虫群集の研究(1)—, 北海道地質要報, 38, pp. 1-12.
- Siddall, M., Chappell, J., Potter, E. K. (2007) Eustatic sea level during past interglacials, In: Sirocko, F., Claussen, M., Sánchez Goñi, M. F., Litt, T. (Eds.), *The Climate of Past Interglacials*, Elsevier, pp. 75-92.
- 相馬寛吉, 辻 誠一郎(1988)植物化石からみた日本の第四紀, 第四紀研究, 26, 3, pp. 281-291.
- Spratt, R. M., Lisiecki, L. E. (2016) A Late Pleistocene sea level stack, *Climate of the Past*, 12, pp. 1079-1092.
- 須田芳朗, 村田泰章, 菊地恒夫, 花岡尚之(1991)岩石物性値データベース(PROCK), 地質調査所研究資料集, 155, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 須田芳朗, 矢野雄策編(1991)日本の地熱調査における坑井データ その2 検層データおよび地質柱状図データ, 地質調査所報告, 273.
- 須藤定久(1998)200万分の1総合鉱物資源図(試作版), 地質調査総合センター研究資料集, 355.
- 須藤定久, 小笠原正継(2005)鉱物資源図 南西諸島, 鉱物資源図, 7, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- Sueoka, S., Tagami, T. (2019) Low-temperature thermochronological database of bedrock in the Japanese Islands, *Island Arc*, 28, 4, e12305, doi: 10.1111/iar.12305.
- 菅原 誠, 嵯峨山 積(2022)西南北海道北部, 磯谷地域の新第三紀磯谷層の珪藻生層序, 総合地質, 6, 1, pp. 39-46.
- 杉本良也(1962)北海道の重晶石鉱床, 地下資源調査所報告, 26, pp. 1-66.
- 杉山雄一, 村上文敏, 内田康人, 津久井朗太(2010)黒松内低地断層帯南方延長域(内浦湾)の音波探査速報, 日本活断層学会秋季学術大会及び1586年天正地震シンポジウム講演予稿集, pp. 31-32.
- 杉山雄一, 村上文敏, 内田康人, 津久井朗太(2011)内浦湾西部のブーマー音波探査により明かにされた黒松内低地断層帯南方延長の地質構造と後氷期活動履歴, 日本地球惑星科学連合大会予稿集, HDS029-01.
- 杉山雄一, 内田康人, 村上文敏, 津久井朗太(2011)黒松内低地断層帯南方延長域(内浦湾)の地質構造と活動性, 活断層・古地震研究報告, 11, pp. 21-53.
- 角 清愛(1975)日本温泉分布図(第2版), 200万分の1地質編集図, 8, 地質調査所.
- 角 清愛, 金原啓司, 高島 勲(1979)日本の熱水変質帯分布図 1. 鮮新世後期-完新世, 200万分の1地質編集図, 19-1, 地質調査所.
- 角 清愛(1980)日本温泉放熱量分布図, 200万分の1地質編集図, 21, 地質調査所.
- 角 清愛, 高島 勲編(1980)日本地熱資源賦存地域分布図, 200万分の1地質編集図, 20, 地質調査所.
- 寿都温泉ゆべつゆ: 温泉成分分析表, <http://yubetsu-noyu.com/onsen/>, 2023年12月5日閲覧.
- 寿都町教育委員会編(1974)寿都町史, 寿都町.
- 鈴木明彦(1989)西南北海道黒松内地域の瀬棚層の貝類化石群, 地球科学, 43, 5, pp. 277-289.
- 鈴木明彦, 都郷義寛, 能條 歩(1996)西南北海道の鮮新世後期の“Pectinid 群集”, 日本地質学会第103年学術大会講演要旨, p. 154.
- 鈴木秀夫(1962)低位周氷河現象の南限と最終氷期の気候区界, 地理学評論, 35, 2, pp. 67-76.
- 鈴木秀夫(1966)日本における凍結融解交代日数の分布(短報), 地理学評論, 39, 4, pp. 267-270.
- 鈴木 守, 藤原哲夫, 三谷勝利(1967)長万部町の地質, 長万部町(北海道山越郡).
- 鈴木 守, 山岸宏光, 高橋功二, 庄谷幸夫(1981)5万分の1地質図幅「寿都」及び説明書, 5万分の1地質図, 札幌-第36号, 北海道立地下資源調査所.
- 鈴木貞臣, 本谷義信(1981)北海道の微小地震活動—テレメータ観測による—, 地震 第2輯, 34, pp. 251-267.
- 鈴木豊重, 川森博史, 内田 豊, 竹林 勇(1976)ニセコ町の温泉ボーリング調査報告, 地下資源調査所報告, 48, pp. 117-122.
- 鈴木豊重, 川森博史, 高橋徹哉, 大津 直, 鈴木隆広, 藤本和徳編(1995)北海道市町村の地熱・温泉ボーリング—地域エネルギー開発利用施設整備事業—(昭和55年度~平成5年度), 北海道立地下資源調査所.
- 鈴木尉元(1979)北海道とその周辺地域の中・深発地震の発震機構と地質構造との関係, 地球科学, 33, 6, pp. 313-318.

T

- 多田 堯, 橋本 学(1985)北海道地方の水平変動とテクトニクス, 地震学会講演予稿集昭和60年度秋季大会, 2, p. 33.
- 多田 堯(1986)北海道東部~南西部のテクトニクス, 地震学会講演予稿集昭和61年度春季大会, 1, p. 53.
- 多田 堯, 木村 学(1987)千島弧南西端における衝突現象と地殻変動, 地震 第2輯, 40, 2, pp. 197-204.
- 田近 淳, 岩田圭示, 黒沢邦彦(1984)西南北海道・島

- 牧村大平山周辺の中生界, 地球科学, 38, 6, pp. 397-407.
- 田力正好, 中田 高, 堤 浩之, 後藤秀昭, 吾妻 崇 (2019) 北海道渡島半島中部、八雲断層帯とその周辺の活断層, 日本活断層学会秋季学術大会講演予稿集, pp. 40-41.
- 田次将太, 中川光弘 (2019) 南西北海道, 第四紀狩場火山群の地質学・岩石学的研究: 山体形成史とマグマ変遷の解明, 日本地球惑星科学連合大会予稿集, SVC36-P12.
- 高橋浩晃, 宮村淳一, 郷家幸治 (1999) 北海道で発生した深部低周波地震, 北海道大学地球物理学研究報告, 62, pp. 25-41.
- 高橋浩晃, 宮村淳一 (2009) 日本列島における深部低周波地震の発生状況, 北海道大学地球物理学研究報告, 72, pp. 177-190.
- 高橋 清, 一ノ関鉄郎, 大倉 保, 秋葉文雄, 村田勇治郎, 古田土俊夫 (1980) 北海道渡島半島新第三系微化石層序—主に, 有孔虫・珪藻・放散虫・各化石の産出状態と, それらの生層序学的関係について—, 技研所報, 23, 3-4, pp. 142-167, 石油資源開発株式会社技術研究所.
- 高橋正明, 風早康平, 安原正也, 塚本 斉, 佐藤 努, 高橋 浩, 森川徳敏, 清水 徹, 宮越昭暢, 戸崎裕貴, 東郷洋子, 稲村明彦, 半田宙子, 仲間純子, 中村有理, 竹内久子, 大丸 純, 清水日奈子, 尾山洋一, 大和田道子, 切田 司 (2018) 深層地下水データベース (第2版), 地質調査総合センター研究資料集, 653.
- 高橋伸充, 斎藤節仁, 岡村 聡, 杉山佳生, 徳田恭一 (1988) 西南北海道黒松内・長万部地域の新第三系と地質構造, 後期中生代~現世における陥没の形態とその発生機構に関する総合研究 (3), 文部省科学研究費補助金総合研究 (A) 研究成果報告書 (昭和 63 年度) (課題番号: No.603020), pp. 81-91.
- 高橋伸充, 斎藤節仁, 岡村 聡 (1990) 西南北海道, 長万部地域の新第三系—上部新生界の火山層序と対比—, 春日井昭教授退官記念論文集, pp. 33-46.
- 高橋徹哉, 柴田智郎, 高橋 良, 林 圭一, 四宮 博, 大塚行紀 (2016) 洞爺湖温泉金比羅山火口近傍における地熱調査ボーリング (KH-1), 北海道地質研究所報告, 88, pp. 1-16.
- 高橋裕平 (2000) 西南北海道, 今金花崗岩類の地質と岩石記載, 地質調査所月報, 51, 12, pp. 649-656.
- 高見雅三, 鈴木隆広, 高橋徹哉, 柴田智郎, 小澤 聡, 藤本和徳, 秋田藤夫 (2008) 北海道における地熱・温泉利用の現状—2007 年版—, 北海道立地質研究所.
- 高見雅三, 鈴木隆広, 高橋徹哉, 柴田智郎, 小澤 聡, 藤本和徳, 秋田藤夫 (2008) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集および索引図 (統合版), 北海道立地質研究所.
- 高島 勲, 山崎哲良, 中田英二, 湯川公靖 (1992) 北海道洞爺湖周辺の第四紀火砕岩及び火山岩の TL 年代, 岩鉱, 87, 5, pp. 197-206.
- Takashima, K., Igarashi, T. (1973) Metallogenic map of Japan, 1:2,000,000 map series, 14, Geological Survey of Japan.
- Takashima, K., Igarashi, T. (1979) Distribution map of manganese ore deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-4, Geological Survey of Japan.
- Takashima, R., Dick, M. H., Nishi, H., Mawatari, S. F., Nojo, A., Hirose, M., Gautam, P., Nakamura, K., Tanaka, T. (2008) Geology and sedimentary environments of the Pleistocene Setana formation in the Kuromatsunai district, southwestern Hokkaido, Japan, Proceedings of International Symposium "The Origin and Evolution of Natural Diversity", pp. 75-82.
- 高清水康博 (2013) 北海道の津波堆積物研究の現状と課題: 17 世紀巨大津波による堆積物の研究を中心に, 地質学雑誌, 119, 9, pp. 599-612.
- 竹内 章 (1989) 西北海道の新时期力場とテクトニクス, 日本地質学会第 96 年学術大会講演要旨, p. 455.
- 竹内 章, 田中武男 (1990) 後志海山の地形地質とテクトニクス, 海洋科学技術センター試験研究報告, 6, pp. 317-326.
- 竹内 章, 岡村行信, 加藤幸弘, 池原 研, 張 勁, 佐竹健治, 長尾哲史, 平野真人, 渡辺真人 (2000) 日本海東縁, 奥尻海嶺および周辺の大地震と海底変動, JAMSTEC 深海研究, 16, pp. 29-46.
- 玉木賢策, 湯浅真人, 西村清和, 本座栄一, 宮崎輝旗, 石原丈実 (1979) 北海道周辺日本海及びオホーツク海域広域海底地質図, 海洋地質図, 14, 地質調査所.
- 玉生志郎, 松波武雄, 金原啓司, 川村政和, 駒澤正夫, 高橋正明, 阪口圭一 (2001) 50 万分の 1 札幌地熱資源図及び同説明書, 特殊地質図, 31-4, 地質調査所.
- 玉生志郎, 高橋正明, 松波武雄, 金原啓司, 川村政和, 駒澤正夫, 阪口圭一 (2002) 50 万分の 1 地熱資源図「札幌」及び「青森」, 地質ニュース, 572, pp. 21-23, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 田村 慎, 高橋徹哉, 秋田藤夫, 岡崎紀俊, 柴田智郎, 荻野 激, 鈴木隆広, 茂木 透, 橋本武志 (2008) 有珠山西山地区における温泉開発可能性, 平成 20 年北海道立地質研究所調査研究成果報告会報告資料集, pp. 10-13.
- 田村 慎, 柴田智郎, 鈴木隆広, 岡 大輔, 林 圭一, 大森一人, 高橋 良, 岡崎紀俊, 大津 直, 高橋徹哉 (2016) 有珠山周辺の地熱・温泉資源に関する研究, 平成 28 年度環境・地質研究本部 調査研究成果発表会地質研究所要旨集, p. 6.
- 田村 慎 (2018) 岩内町における地熱・温泉資源の開発可能性について, 平成 30 年度調査研究成果発表会資料集, p. 40, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 田村 慎 (2020) MT 法探査による 3 次元比抵抗構造,

- 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 調査研究成果資料集 令和2年度(2020年度), S-2.
- 田村 慎(2020) ニセコ地域における地熱資源探査, 第58回試錐研究会講演資料集, pp. 43-48, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- Tamura, M., Oka, D., Okazaki, N., Suzuki, K., Hashimoto, T., Mogi, T. (2022) Magnetotelluric survey and three-dimensional resistivity structure in and around the Niseko area, southwestern Hokkaido, *Geothermics*, 105, 102496, doi: 10.1016/j.geothermics.2022.102496.
- Tamura, Y., Tatsumi, Y., Zhao, D., Kido, Y., Shukuno, H. (2002) Hot fingers in the mantle wedge: new insights into magma genesis in subduction zones, *Earth and Planetary Science Letters*, 197, pp. 105-116.
- 田村芳彦(2003) 東北日本弧と大和海盆周辺のマグマの成因関係—「熱い指」のダイナミックモデル—, *地学雑誌*, 112, 5, pp. 781-793.
- 田村芳雄, 津 宏治, 中井順二(1974) 積丹-奥尻海域空中磁気図, 空中磁気図, 10, 地質調査所.
- 田中明子, 大久保泰邦, 松林 修(1997) 東・東南アジア地域のキュリー点深度解析, *地震* 第2輯, 50, pp. 183-194.
- 田中明子, 矢野雄策, 笹田政克, 大久保泰邦, 梅田浩司, 中司 昇, 秋田藤夫(1999) 坑井の温度データによる日本の地温勾配値のコンパイル, *地質調査所月報*, 50, 7, pp. 457-487.
- Tanaka, A. (2004) Geothermal gradient and heat flow data in and around Japan (II): Crustal thermal structure and its relationship to seismogenic layer, *Earth, Planets and Space*, 56, pp. 1195-1199.
- Tanaka, A., Yamano, M., Yano, Y., Sasada, M. (2004) Geothermal gradient and heat flow data in and around Japan (I): Appraisal of heat flow from geothermal gradient data, *Earth, Planets and Space*, 56, pp. 1191-1194.
- 田中明子, 山野 誠, 矢野雄策, 笹田政克(2004) 日本列島及びその周辺域の地温勾配及び地殻熱流量データベース, 数値地質図, P-5, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 田中明子, 濱元栄起, 山野 誠, 後藤秀作(2019) 日本列島及びその周辺域の熱データベース, https://www.gsj.jp/Map/JP/docs/jm100_doc/jm_geothermal-db.html, 2022年5月11日閲覧.
- 田中 実(2022) 寿都には青い海 (Ver.5.01), <http://k.akugomi.no.coocan.jp/contents/kanren.html>, 2023年2月22日閲覧.
- 種村光郎(1952) 北海道後志国蘭越粘土鉱床概査報告, *地質調査所月報*, 3, 9, pp. 447-449.
- Terakawa, T., Matsu'ura, M. (2010) The 3-D tectonic stress fields in and around Japan inverted from centroid moment tensor data of seismic events, *Tectonics*, 29, TC6008, doi: 10.1029/2009TC002626.
- 徳永重元, 高井保明, 曾我部正敏, 谷 正巳, 植田芳郎, 井上英二, 鈴木泰輔, 尾上 亨(1973) 日本炭田図 第2版, 200万分の1地質編集図, 5, 地質調査所.
- 徳山英一, 竹内 章, 徐 垣, 石井次郎, 嵯峨山 積, 菅 和哉, 宮下純夫, 倉本真一(1991) 日本海東縁奥尻海嶺におけるバック・スラスト, 海洋科学技術センター試験研究報告書—第7回「しんかい2000」研究シンポジウム—, pp. 245-252.
- 徳山英一, 本座栄一, 木村政昭, 倉本真一, 芦 寿一郎, 岡村行信, 荒戸裕之, 伊藤康人, 徐 垣, 日野亮太, 野原 壯, 阿部寛信, 坂井真一, 向山建二郎(2001) 日本周辺海域中新世最末期以降の構造発達史, *海洋調査技術*, 13, 1, pp. 27-53, 付図.
- 東宮昭彦, 宮城磯治(2020) 洞爺噴火の年代値, *火山*, 65, 1, pp. 13-18.
- 豊浜トンネル崩落事故調査委員会(1996) 豊浜トンネル崩落事故調査報告書.
- 椿原慎一, 長谷川四郎, 丸山俊明(1989) 西南北海道黒松内地域の上部新生界—とくに黒松内層の層序と微化石年代について—, *地質学雑誌*, 95, 6, pp. 423-438.
- 椿原慎一(1990) 地殻の変形様式からみた西南北海道のテクトニクス, *日本地質学会第97年学術大会講演要旨*, p. 366.
- 椿原慎一(1991) 西南北海道黒松内低地帯の第四紀テクトニクス, 中川久夫教授退官記念地質学論文集, pp. 313-317.
- Tsuchiya, N., Ishii, J., Yamazaki, T., Shuto, K. (1989) A newly discovered Quaternary volcano from northeast Japan Sea: K-Ar age of andesite dredged from the Shiribeshi Seamount, *Journal of Mineralogy, Petrology and Economic Geology*, 84, 11, pp. 391-397.
- Tsukada, M. (1985) Map of vegetation during the last glacial maximum in Japan, *Quaternary Research*, 23, pp. 369-381.
- 対馬坤六(1968) 20万分の1地質図幅「岩内」, 20万分の1地質図, NK-54-20, 地質調査所.
- 通商産業省資源エネルギー庁, 地質調査所(1979) 地熱開発基礎調査報告書 No.8 大平山そのI (昭和52年度) .

U

- Uchide, T., Shiina, T., Imanishi, K. (2022) Stress map of Japan: Detailed nationwide crustal stress field inferred from focal mechanism solutions of numerous microearthquakes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 127, e2022JB024

- 036, doi: 10.1029/2022JB024036.
- 内出崇彦, 椎名高裕, 今西和俊 (2022) 日本全国内陸部の地殻内応力マップと微小地震の発震機構解のデジタルデータ, 地質調査総合センター研究資料集, 738, p. 6.
- 内野栄治, 青柳直樹, 市橋大山, 中山憲司 (2011) 湧出形態別に見た道内温泉のホウ素濃度, 温泉科学, 61, 1, pp. 2–22.
- 上野将司, 山岸宏光 (2002) わが国の岩盤崩壊の諸例とその地形地質学的検討—とくに発生場と発生周期について—, 地すべり, 39, 1, pp. 40–47.
- 上澤真平, 伊藤久敏 (2020) 北海道西部, 羊蹄火山東麓に分布する緑色凝灰岩層のジルコン U-Pb 年代, 地質学雑誌, 126, 10, pp. 589–595.
- 梅田浩司, 小松 亮, 中司 昇 (1999) 坑井データによる地下温度構造の推定, サイクル機構技報, 2, pp. 29–36.
- 浦島幸世 (1963) 寿都東部地域の鉱床調査報告, 北海道地下資源調査資料, 85, p. 26, 北海道開発庁.
- 宇佐美龍夫, 石井 寿, 今村隆正, 武村雅之, 松浦律子 (2013) 日本被害地震総覧 599–2012, 東京大学出版会.
- 宇佐美龍夫編 (2020) 日本歴史地震総表 2020 416–1872.
- 宇津徳治 (1968) 4.北海道およびその周辺の地震活動, 北海道大学地球物理学研究報告, 20, pp. 51–75.
- 宇津徳治 (1982) 日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表: 1885 年～1980 年, 地震研究所彙報, 57, 3, pp. 401–463.
- 宇津徳治, 嶋 悦三, 吉井敏尅, 山科健一郎編 (2001) 地震の事典 第 2 版, 朝倉書店.
- W**
- Wada, I., He, J., Hasegawa, A., Nakajima, J. (2015) Mantle wedge flow pattern and thermal structure in Northeast Japan: Effects of oblique subduction and 3-D slab geometry, *Earth and Planetary Science Letters*, 426, pp. 76–88.
- 若浜 洋, 秋田藤夫, 松波武雄 (1995) 北海道地温勾配図及び説明書, 60 万分の 1 地質図, 北海道立地下資源調査所.
- Wang, J., Zhao, D. (2009) P-wave anisotropic tomography of the crust and upper mantle under Hokkaido, Japan, *Tectonophysics*, 469, pp. 137–149.
- Wang, Z., Zhao, D., Liu, X., Chen, C., Li, X. (2017) P and S wave attenuation tomography of the Japan subduction zone, *Geochemistry, Geophysics, Geosystems*, 18, pp. 1688–1710.
- Wang, Z., Zhao, D. (2019) Updated attenuation tomography of Japan subduction zone, *Geophysical Journal International*, 219, pp. 1679–1697.
- Wang, Z., Zhao, D. (2021) 3D anisotropic structure of the Japan subduction zone, *Science Advances*, 7, eabc9620, doi: 10.1126/sciadv.abc9620.
- Wang, Z., Zhao, D. (2005) Seismic imaging of the entire arc of Tohoku and Hokkaido in Japan using P-wave, S-wave and sP depth-phase data, *Physics of the Earth and Planetary Interiors*, 152, pp. 144–162.
- 渡辺真人 (2000) GH99 航海で採取された泥岩試料の珪藻化石に基づく年代, 地質調査所速報, MG/00/1, pp. 90–93.
- 渡辺満久, 鈴木康弘 (2015) 「泊原子力発電所の新規規制基準適合性に関わる審査」の問題点, *科学*, 85, 7, pp. 721–726.
- 渡辺満久 (2022) 泊原子力発電所の安全審査に関する問題—反論できないことは無視するのか, *科学*, 92, 1, pp. 7–10.
- 渡辺暉夫 (1999) 第 2 白糸トンネル岩盤崩落と渡島半島西縁部の地質, 北海道地区自然災害科学資料センター報告, 14, pp. 3–16.
- 渡辺 寧 (1986) 鉱脈の方向から推定された広域応力場—北海道における中期中新世以降の鉱脈の例—, *鉱山地質*, 36, 3, pp. 209–218.
- Watanabe, Y. (1990) Pliocene to Pleistocene volcanism and related vein-type mineralization in Sapporo-Iwanai district, Southwest Hokkaido, Japan, *Mining Geology*, 40, 5, pp. 289–298.
- Watanabe, Y. (1991) Mineralization ages of Ofukeshi, Shizukari, Yakumo and Jokoku deposits and structural movements related to vein-type mineralization in Southwest Hokkaido, *Mining Geology*, 41, 3, pp. 141–146.
- 渡辺 寧 (1993) 岩脈・火口配列に基づく西南北海道北部の新生代後期の応力場, *地質学雑誌*, 99, 2, pp. 105–116.
- 渡辺 寧 (1993) 西南北海道における新生代後期の応力場の転換と鉱化作用, *資源地質*, 43, 3, pp. 214–215.
- 渡辺 寧 (1993) 西南北海道北部の火山列—ニセコ-羊蹄火山列はなぜ曲がったのか?—, 石井次郎教授追悼論文集, pp. 147–154.
- Watanabe, Y. (1995) Epithermal vein-type mineralization in a compressive stress field, southwest Hokkaido, Japan, *Global Tectonics and Metallogeny*, 5, 1&2, pp. 19–27.
- 渡辺 寧 (2000) 札幌-岩内地域マグマ-鉱化熱水系分布図, 特殊地質図, 38, 地質調査所.
- Watanabe, Y. (2002) Late Cenozoic metallogeny of Southwest Hokkaido, Japan, *Resource Geology*, 52, 3, pp. 191–210.
- 渡辺 寧 (2002) 札幌-岩内地域マグマ-鉱化熱水系分布図, *地質ニュース*, 572, pp. 24–25, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- Wei, D. and Seno, T. (1998) Determination of the Amurian Plate Motion, In: Flower, M. F., Chung, S.

- L., Lo, C. H., Lee, T. Y. (Eds.), *Mantle Dynamics and Plate Interactions in East Asia*, Geodynamics Series, American Geophysical Union, 27, pp. 337–346.
- Wirth, E. A., Korenaga, J. (2012) Small-scale convection in the subduction zone mantle wedge, *Earth and Planetary Science Letters*, 357–358, pp. 111–118.
- Y**
- 八幡正弘, 山岸宏光 (1986) 島弧横断ルート No.4 (瀬棚-黒松内), 北村 信編: 新生代東北本州弧地質資料集, 宝文堂, 1, 4.
- 八幡正弘 (1989) 西南北海道北部の新生界とその特徴, *地質学論集*, 32, pp. 7–28.
- 八幡正弘, 五十嵐八枝子, Gautam, P., 和田信彦 (1989) 西南北海道洞爺湖東方の鮮新-更新統について—堆積相・花粉層序・古地磁気層序—, *地球科学*, 43, 5, pp. 261–276.
- 八幡正弘 (2002) 北海道における後期新生代の鉍化作用および熱水活動の時空変遷, *北海道立地質研究所報告*, 73, pp. 151–194.
- 八幡正弘, 野呂田 晋 (2003) 西北海道, 虻田地域における更新世熱水活動, *北海道立地質研究所報告*, 74, pp. 1–14.
- 八幡正弘 (2005) 北海道の新生代鉍床区における熱水活動履歴, *地球科学*, 59, 3, pp. 193–212.
- 八幡正弘, 鈴木隆広, 西戸裕嗣, 八木公史 (2014) 西南北海道, 洞爺湖地域の新生代後期の熱水活動, *資源地質*, 64, 1, pp. 1–17.
- 矢島淳吉, 羽坂俊一, 太田英順, 渡辺 寧, 中川 充, 成田英吉 (1991) 北海道における金属・非金属資源産出量とその特徴—特に新第三紀-第四紀鉍化作用について—, *地質調査所月報*, 42, 10, pp. 527–542.
- 矢島澄策 (1937) 狩場火山に就いて (豫報), *地質学雑誌*, 44, 525, pp. 476–477.
- 矢島澄策, 古舘兼治, 陸川正明 (1939) 壽都圖幅説明書, *北海道工業試験場地質調査報告*, 4.
- 矢島澄策, 陸川正明 (1939) 長萬部圖幅説明書, *北海道工業試験場地質調査報告*, 3.
- 山田敬一, 須藤定久, 佐藤壮郎, 藤井紀之, 沢 俊明, 服部 仁, 佐藤博之, 相川忠之 (1980) 全国金属鉍山基礎資料集 第 1 巻 東北日本, *地質調査所報告*, 第 260 号 別冊 1.
- 山田敬一, 須藤定久, 佐藤壮郎, 藤井紀之, 沢 俊明, 服部 仁, 佐藤博之, 相川忠之 (1980) 全国金属鉍山基礎資料集 第 2 巻 西南日本, *地質調査所報告*, 第 260 号 別冊 2.
- 山田悟郎, 矢野牧夫, 三野紀雄, 瀬川秀良, 尾上博章 (1979) 北海道渡島半島の第四系より産出する植物化石Ⅲ, *北海道開拓記念館研究年報*, 7, pp. 17–35.
- 山田悟郎, 三野紀雄, 矢野牧夫, 瀬川秀良, 尾上博章, 日下 哉 (1980) 北海道渡島半島の第四系より産出する植物化石 IV, *北海道開拓記念館研究年報*, 8, pp. 37–50.
- 山田直利, 斎藤英二, 村田泰章 (1990) コンピューター編集による日本地質図及び説明書, 200 万分の 1 地質編集図, 22, *地質調査所*.
- 山縣耕太郎 (1994) 支笏およびクッタラ火山のテフロクロノロジー, *地学雑誌*, 103, 3, pp. 268–285.
- 山岸宏光, 国府谷盛明, 安藤重幸 (1976) 5 万分の 1 地質図幅「島古丹」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 26 号, *北海道立地下資源調査所*.
- 山岸宏光, 木村 学 (1981) 黒松内低地帯の活断層露頭, *地球科学*, 35, 2, pp. 94–97.
- 山岸宏光 (1982) 西南北海道北部の地質とテクトニクス, *日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨*, p. 512.
- 山岸宏光 (1984) 5 万分の 1 地質図幅「歌棄」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 37 号, *北海道立地下資源調査所*.
- 山岸宏光 (1986) 北海道におけるいくつかの活断層露頭, *活断層研究*, 2, pp. 19–28.
- 山岸宏光, 渡辺 寧 (1986) 西南北海道における新生代後期の応力場の変遷—地質断層, 岩脈, 鉍脈および活断層の検討—, *北海道の地質と構造運動*, 地団研専報, 31, pp. 321–331.
- 山岸宏光, 黒沢邦彦 (1987) 5 万分の 1 地質図幅「原歌および狩場山」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 35, 46 号, *北海道立地下資源調査所*.
- 山岸宏光 (1989) 西南北海道における新第三紀火山岩相の特徴と噴火活動略史, *地質学論集*, 32, pp. 385–397.
- 山岸宏光, 伊藤陽司 (1993) 北海道における地すべり地形の分布からみた地質分帯, *地すべり*, 30, 2, pp. 1–9.
- 山岸宏光編 (1993) 北海道の地すべり地形 分布図とその解説, *北海道大学図書刊行会*.
- 山岸宏光 (1994) 水中火山岩 アトラスと用語解説, *北海道大学出版会*.
- 山岸宏光, 和氣 徹 (1995) 島牧村の地質と資源・環境, 島牧村.
- 山岸宏光 (1996) ハイアロクラスタイトと岩盤崩落, *北海道地区自然災害科学資料センター報告*, 11, pp. 9–23.
- 山岸宏光, 志村一夫 (1997) 1997 年 8 月北海道島牧村第二白糸トンネルを破壊した新第三紀ハイアロクラスタイトの岩盤崩落, *地質学雑誌*, 103, 10, pp. XXXIII–XXXIV.
- 山岸宏光 (1998) 北海道における高速ランドスライド, *地すべり*, 34, 4, pp. 19–26.
- 山岸宏光編 (2012) 北海道の地すべり地形デジタルマップ, *北海道大学出版会*.
- 山口久之助, 小田切敏夫, 小原常弘 (1954) 胆振支庁管内有珠郡洞爺湖畔温泉調査報告, *北海道地下資源調査報告*, 13, pp. 22–30, *北海道地下資源調査所*.

- 山口久之助, 小原常弘 (1960) 水井戸および温泉の電気検層記録, 地下資源調査所報告, 24, pp. 77-84.
- 山口久之助 佐藤 巖(1971)羊蹄山麓湧泉調査報告書 北海道立地下資源調査所.
- 山口昇一, 秦 光男, 沢 俊明, 斎藤正雄, 番場猛夫, 山田敬一, 成田英吉, 五十嵐昭明, 佐藤博之, 石田正夫, 対馬坤六 (1965) 北海道金属非金属鉱床総覧 IV. 北海道地質図, 地質調査所.
- 山本明彦, 石川春義 (2002) 北海道渡島半島南部の重力異常と浅部地殻構造, 北海道大学地球物理学研究報告, 65, pp. 247-290.
- 山元孝広 (2014) 日本の主要第四紀火山の積算マグマ噴出量階段図, 地質調査総合センター研究資料集, 613.
- 山井忠世, 加藤芳郎, 岡崎彦哉 (1995) 北海道南部における広域地質環境評価のための断裂系調査, 動力炉・核燃料開発事業団 契約業者報告書 PNC-TJ1361 95-001, アジア航測.
- 柳町 治 (1992) 現在の日本における周氷河帯およびその推移帯と永久凍土帯との関係, 地理学評論, 65A, 2, pp. 143-157.
- 矢野牧夫, 三野紀雄, 山田悟郎, 藤田郁男, 尾上博章 (1975) 北海道渡島半島の第四系より産出する植物化石, 北海道開拓記念館調査報告, 9, pp. 15-25.
- 矢野牧夫 (1983) 黒松内低地帯南部の中・上部更新統と古環境, 日本地質学会北海道支部・日本応用地質学会北海道支部学術シンポジウム講演要旨集, pp. 27-29.
- 矢野牧夫, 日下 哉, 尾上博幸, 大室道夫 (1983) 黒松内低地帯における中部更新統の植物遺体と絶対年代, 日本第四紀学会講演要旨集, 13, pp. 106-107.
- 矢野牧夫 (1984) 渡島半島における中期更新世以降のグイマツの出現時代, 日本第四紀学会講演要旨集, 14, pp. 57-58.
- 矢野牧夫 (1984) 黒松内低地帯の中部更新統から産出する *Picea* (トウヒ) 属の遺体について, 北海道開拓記念館研究年報, 12, pp. 55-65.
- 矢野牧夫 (1985) 渡島半島の更新統から産出する *Larix* (カラマツ) 属の遺体について, 北海道開拓記念館研究年報, 13, pp. 11-21.
- 矢野牧夫 (1989) 北海道の更新世におけるブナ林の消長, 北海道開拓記念館研究年報, 17, pp. 1-11.
- 矢野雄策, 田中明子, 高橋正明, 大久保泰邦, 笹田政克, 梅田浩司, 中司 昇 (1999) 日本列島地温勾配図, 地質調査所.
- 八島邦夫, 今井健三, 西沢邦和 (1982) 100 万分の 1 海底地形図「北海道」・「東北日本」と海底地形, 水路部研究報告, 17, pp. 93-162.
- 安田喜憲, 成田健一 (1981) 日本列島における最終氷期以降の植生回復元への一資料, 地理学評論, 54, 7, pp. 369-381.
- 矢崎清貫 (1976) 日本油田・ガス田分布図 第 2 版, 200 万分の 1 地質編集図, 9, 地質調査所.
- 横山英二, 松波武雄 (1998) 北海道の温泉付随ガス, 地下資源調査所報告, 69, pp. 75-91.
- Yokoyama, K., Shigeoka, M., Otomo, Y., Tokuno, K., Tsutsumi, Y. (2016) Uraninite and thorite ages of around 400 granitoids in the Japanese Islands, *Memoirs of the National Museum of Nature and Science*, 51, pp. 1-24.
- 米田哲朗, 大河原正文, 渡辺 隆 (1999) 北海道積丹半島豊浜トンネル付近の水冷火砕岩に産するスメクタイト, 粘土科学, 39, 2, pp. 53-64.
- 米田哲朗, 林 謙二, ダカール ゴネス, 柏谷公希, 金子勝比古 (2002) 北海道積丹半島における火砕岩の特性と岩盤崩壊の要因について, 地すべり, 39, 1, pp. 14-21.
- 米倉伸之, 貝塚爽平, 野上道男, 鎮西清高編 (2001) 日本の地形 1 総説, 東京大学出版会.
- Yoo, S., Lee, C. (2020) Correlation of Quaternary volcano clusters with partial melting of mantle wedge, Northeast Japan: A numerical model study, *Geophysical Research Letters*, 47, e2019GL086205, doi: 10.1029/2019GL086205.
- Yuningsih, E. T., Matsueda, H., Syafrie, I. (2018) Ore-microscopy and geochemistry of gold-silver telluride mineralization in southwestern Hokkaido, Japan, *Journal of Mineralogical and Petrological Sciences*, 113, pp. 293-309.
- Yu, Z., Zhao, D. (2020) Seismic evidence for water transportation in the forearc off Northern Japan, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 125, doi: 10.1029/2019JB018600.

Z

- Zhao, D., Hasegawa, A. (1993) P wave tomographic imaging of the crust and upper mantle beneath the Japan Islands, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 98, pp. 4333-4353.
- Zhao, D., Hasegawa, A., Kanamori, H. (1994) Deep structure of Japan subduction zone as derived from local, regional, and teleseismic events, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 99, pp. 22313-22329.
- Zhao, D., Yanada, T., Hasegawa, A., Umino, N., Wei, W. (2012) Imaging the subducting slabs and mantle upwelling under the Japan Islands, *Geophysical Journal International*, 190, pp. 816-828.

その他

- 鉱業原簿および鉱区図, 北海道経済産業局.
寿都鉱山坑道図 (添付図: 寿都鉱山地形図 (鉱区境界記載)). (寿都町ご提供)